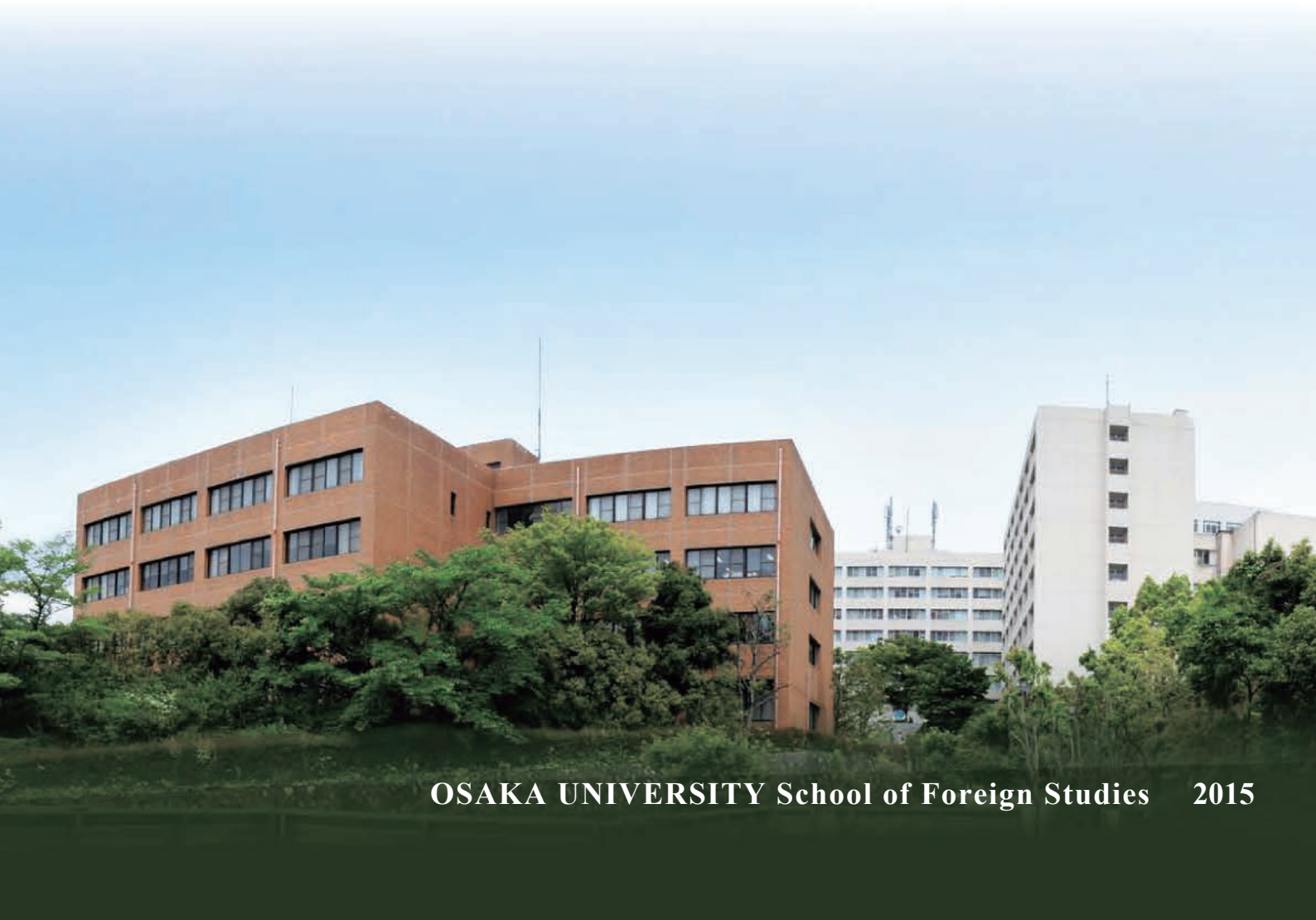
Let Language Be Your Wings To The World

言葉を究めて世界へはばたく

大阪大学 外国語学部



OSAKA UNIVERSITY School of Foreign Studies 2015

言葉を究めて 世界へはば

外国語学部長あいさつ

外国語学部の起源は、大阪の実業家・林蝶子女史の寄付金をもとに、1921年に創設された「大阪外國語学校」に遡ります。次ページの「外国語学部とは」にあるように、その後、変遷を経て、現在では、大阪大学外国語学部として、国立大学法人の総合大学の中では唯一の外国語学部となっています。

このような歴史と伝統を有する外国語学部では、表紙にある「言葉を究めて世界へはばたく（Let Language Be Your Wings To The World）」、および「言語を通して文化を学び、文化を通して言語を学ぶ（Culture Through Language, Language Through Culture）」をモットーとして掲げ、国際社会で通用する人材の育成に取り組んでいます。

最近、「グローバル人材の育成」という言葉を耳にすることが多くなりました。つまり、優れた言語能力と異文化理解能力、さらに主体性や積極性・協調性や柔軟性・使命感を併せ持った人材を育成するということです。

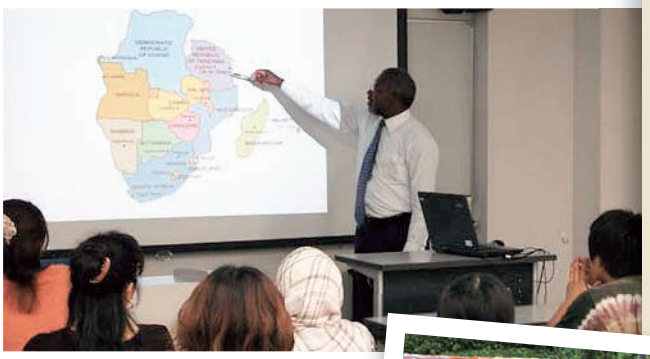
「グローバル人材の育成」というと何か新しいもののように感じられるかもしれませんが、その理念は、上記のモットーに集約されている学部理念、つまり言語を通じて外国に関する深い理解を有する有為の人材を養成するという理念と軌を一にするものです。

外国語学部の特色の一つに、学生の多くが強い海外志向を持っていることがあげられます。大阪大学には、大学間の交流協定がいくつもありますが、外国語学部の学生は、交流協定に基づく学生派遣にきわめて積極的に応募しています。その他にも、毎年数百人規模で、海外留学や語学研修に海外に出かけています。

言語を習得し、その地域の文化を学ぶことは、「言うは易く行うは難し」の典型ですが、皆さんも是非、言葉を究めて世界へはばたき、言語を通して文化を学び、文化を通して言語を学んで下さい。

大阪大学 外国語学部長　**東　　明彦**

たく



外国語学部とは

私たちがこの地球上で共存していくためには、さまざまな言語文化圏に暮らす者どうしがお互いの異なる点を理解し、その存在を尊重しあうことが大切です。

そのためには、私たち外国語学部は、世界のさまざまな言語を究めること、そしてそれを通して、各地域の文化や社会を深く理解することが必要であると考えています。このような理念にもとづき、外国語学部は、世界各地域の言語とそれを基底とする文化全般について教授し、それを通して、世界各地域の言語・文化・社会に関する深い理解を有し、かつ国際的な活動に必要な幅広い知識と高い教養を備えた人材を養成することを目標としています。

外国語学部の原点は、1921年大阪市上本町に設立された大阪外国語学校にあります。同校は、1949年国立学校設置法施行にともない、外国語学部の前身、大阪外国語大学となりました。1979年には、現在の箕面の地に移転し、大学発足当初12であった開設専攻言語も、その後の発展の中で、25言語にまで拡充しました。そして、2007年には大阪大学との統合にともない、大阪外国語大学は、大阪大学外国語学部として再出発しました。

外国語学部へ入学した学生は、4年間の体系的な一貫教育のもとで、各専攻語とそれを基底とする文化や社会を学びます。在学生の多くは、さまざまな機会を利用して、海外での生活を経験しています。そして現在、数多くの卒業生が、学生時代に修得した高度な言語運用能力と世界諸地域についての深い知識を切り札として、世界を見すえて、産業界や学界、教育界の第一線で活躍しています。

外国語学部のあゆみ

1921年（大正10年）	大阪外国語学校創立
1944年（昭和19年）	大阪外事専門学校と改称
1949年（同 24年）	大阪外国語大学設置
1979年（同 54年）	箕面市粟生間谷に移転
2007年（平成19年）	10月1日、大阪大学と統合

CONTENTS

外国語学部長あいさつ …… 1
外国語学部とは
外国語学部のあゆみ
ネイティブ教員からのメッセージ …… 3

専攻紹介（P5～29）をご覧ください。

各専攻のアドミッション・ポリシーを
それぞれの紹介ページ冒頭に記載しています。

各専攻紹介のページでは、冒頭に「こんにちは」を意味する言葉をそれぞれの言語の文字表記で載せています。

アドミッション・ポリシー …… 30
外国語学部のカリキュラム …… 31
就職状況 …… 32
交換留学制度 …… 33
卒業生からのメッセージ …… 35
箕面キャンパス施設・設備案内 …… 37
箕面キャンパス所在地経路図 …… 38

ネイティブ教員からのメッセージ

金昌吉先生

中国語 専攻 P5

让我们一起学习汉语吧！

一緒に中国語を勉強しましょう!

ナム先生

朝鮮語 専攻 P6

한국어는 하면 됩니다.

韓国語はやればできます。

オーガンバヤル先生

モンゴル語 専攻 P7

Сайн байцгаана уу?

Монгол хэл суралцъя, залуус аа.

こんにちは。

モンゴル語を一緒に勉強しましょう，

若者の皆さん。

シュエピーソウ先生

ビルマ語 専攻 P12

မြန်မာစကား အတူတူပြောကြစို့။

ビルマ語を一緒に話しましょう。

サフィトリ先生

インドネシア語 専攻 P8

Mari kita belajar bahasa Indonesia bersama-sama!

一緒にインドネシア語を学びましょう!

ヨーギー先生

ヒンディー語 専攻 P13

'हिन्दी' प्रेम और आत्मीयता की भाषा है। आइए! हिन्दी के रथ पर सवार होकर सारी दुनियाँ में आत्मीयता का दिग्घोष करें।

「ヒンディー語」は愛と親愛に満ちた言語です。
さあ、一緒にヒンディー語という乗り物に乗って、
全世界に親愛の情を広めましょう!

ロムロ・バキーラン先生

フィリピン語 専攻 P9

Sa pag-aaral ng wika,
nagbubukas ang mga pinto para sa isip at puso ng ibang lahi.

言語を学ぶとき、
ほかの民族の考えと心に向けて、
いくつもの扉を開くのです。

ザイディー先生

ウルドゥー語 専攻 P14

اردو شیریں اور خوب صورت زبان ہے۔
آئیے، اردو سیکھیں!

ウルドゥー語は甘美な言葉です。
さあ、ウルドゥー語を学びましょう!

ルンアルン先生

タイ語 専攻 P10

"เรียนรู้วัฒนธรรมไทยจากการปฏิบัติ"

体験を通してタイ文化を学びましょう。

カースィム先生

アラビア語 専攻 P15

لَيْسَتِ ٱللُّغَةُ ٱلْعَرَبِيَّةُ لُغَةً نَحْلُ أَلْغَازَهَا،
بَلْ لُغَةٌ نَقْرَأُ وَنَكْتُبُ وَنَتَحَادَثُ بِهَا.

アラビア語は解読する言葉ではありません。
読み、書き、話す言葉です。

トー先生

ベトナム語 専攻 P11

Hãy học tiếng Việt đi!
Việt Nam đang cần các bạn.

ベトナム語を勉強しましょう。
ベトナムが皆さんを待っています。

アーベディー先生

ペルシア語 専攻 P16

زبان فارسی مشکل نیست،
بیایید زبان فارسی یاد بگیریم!

ペルシア語は難しくありません。
さあ、ペルシア語を勉強しましょう!

トルコ語 専攻 P17

アブドゥルラッハマン先生

Gelin, birlikte Türkçe öğrenelim!

さあ、一緒にトルコ語を学びましょう!

スワヒリ語 専攻 P18

ザイナブ先生

Tujifunze Kiswahili!

スワヒリ語を勉強しましょう!

ロシア語 専攻 P19

カザケーヴィッチ先生

Давайте изучать
русский язык вместе!

一緒にロシア語を勉強しましょう。

ハンガリー語 専攻 P20

ボルショシュ・レヴェンテ先生

Tanuljunk magyarul!

ハンガリー語を勉強しましょう!

デンマーク語 専攻 P21

マーティン先生

Du bliver kun lykkelig,
hvis du lærer dansk!

幸せになるためのデンマーク語!

スウェーデン語 専攻 P22

ウルフ先生

Upptäck Sverige hos oss!

私たちと一緒に
スウェーデンを発見しよう!

ドイツ語 専攻 P23

フォーグル先生

Wollen wir Deutsch lernen!

ドイツ語を学ぼうよ!

英語 専攻 P24

オドワイヤー先生

Hello learners! I am very happy to teach mainly academic writing, and reading and discussion classes here. I am very interested in encouraging learners to generally think about the connections between culture and language, among many other topics. In all classes you can develop global personnel/critical thinking skills and it is expected that you firmly take control of your learning. The challenge is waiting for you!

メイリー先生

My name is Ashlyn Moehle. I grew up in the United States of America, where I became interested in foreign languages from a very young age. It was at the University of California that I had my first encounter with Japanese. Here at the School of Foreign Studies, I teach classes that help learners strengthen and refine their use of English to expertly navigate and negotiate in communicative settings. I also lead reading and discussion classes that explore language at various levels of linguistic analysis, providing a glimpse into the dynamic and fascinating nature of a living language like English.

Hi prospective students,
My goal is to help students get the English level they need to study abroad and/or use English in their future careers. In 1st year speaking class, my software identifies what each student needs to learn and displays the materials to learn it. In 2nd year, students learn formal policy debate, presentations and academic writing. In 3rd/4th, I teach classes in various areas like, linguistics, current events, American culture, Internet talks & dramatic speeches, music appreciation, and movie appreciation & acting.

スミス先生

フランス語 専攻 P25

富本ジャニナ先生

Bienvenue dans l'univers de la
langue française !

フランス語の世界へようこそ!

イタリア語 専攻 P26

カルディ先生

Ciao! Studiamo insieme l'italiano e scopriamo
un paese ricco di storia,
tradizioni culinarie e bellezze artistiche!

こんにちは! 歴史、美術、美味しい食文化などの魅力に溢れるイタリアを発見し、一緒にイタリア語を学びましょう。

スペイン語 専攻 P27

ナカガワ マルガリータ先生

El español te abrirá las puertas
del mundo hispano.
¡Estudiémoslo juntos!

スペイン語は、あなたにスペイン語圏へのドアを開けてくれます。いっしょに勉強しましょう!

ポルトガル語 専攻 P28

デセン先生

"Olá! Tudo bem? Vamos estudar a
Língua Portuguesa e aprender sobre a
cultura Luso-Brasileira!"

やあ、元気かい?一緒にポルトガル語を学び、ポルトガルとブラジルの文化を知ろう!

中国語専攻

中国語学習を通じて、中国および中国語圏諸地域の言語、文化、社会についての高度な知識を得たいと考え、そのために深い探究心をもって問題にとりくみ、中国語で積極的に学習や研究の成果を発信することを目標とするような学生を求めています。

外灘から望む浦東のビル群（上海）

あなたが大阪大学に入学してまず出会う中国語は、世界一の13億の人口、世界第3位の広さの国土、56の民族、それに伴う数十の言語をもつ中国と、世界中に広がる華人社会の共通語である言語です。

1年次では、「听」(きく)、「说」(はなす)、「读」(よむ)、「写」(かく)の各技能を総合的に学び、この言語の世界に、どっぷり浸かることになります。

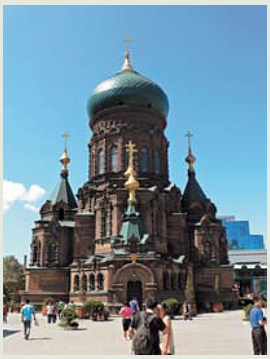
2年次以降は、みなさんの志向次第で、次に挙げるような、さまざまな「中国語」を学びつつ、中国のいろいろな側面に触れることができます。

まず、現代中国の言語・文学・歴史・政治・経済・社会などを学ぶ手段としての中国語。これを学ぶことで、前掲の学問分野に対する基礎的な知識が身につくとともに、あなたの中国語は、より幅広く、知的なものになるでしょう。

また、共通語とはかなり異なった方言である広東語は、あなたの中国語に対する知識を多角的なものにするための、また、独自の歴史・民俗・風土などを知るための、最良の足がかりとなってくれるでしょう。

あるいは、近代から遥か古代へと遡っていく、歴史的中国語もあります。これを通して、あなたの中国への視点は、時間的な奥行きをもつことでしょう。

3・4年次では、ゼミに所属します。あなたが「どのゼミにしようか」と悩むとき、あなたは、きっと、それまで学んだ、さまざまな中国語が、ゼミでの多様な専門分野の学習に不可欠であったことを知り、今までのハードな勉強は、このためであったかと達成感を覚えてくれるものと、わたしたちは期待しています。



聖ソフィア教会（ハルピン）

中国語専攻ホームページ
http://www.sfs.osaka-u.ac.jp/user/chinese/web/

「ニィ ハオ」
你好

学生の声　3年　山下　圭祐

≪中国語専攻の魅力≫

受験生の皆さん、こんにちは。

大阪大学外国語学部外国語学科中国語専攻について興味がある、あるいはどんなものか知りたいと考えてくれている皆さんに少しでもその魅力を伝えることができればと思い、こちらで一言述べさせて頂きます。

僕が考える中国語専攻の主な魅力は２つあります。

①体系的な言語学習

今や中国語は世界でも有数のメジャー言語となり、中国語を学ぶことのできる機会は格段に増えてきました。その中で、大学で専門として中国語を学習することの意義がより重視されることになると思います。僕が考えるその意義とは、より体系的な中国語を学習できるということです。この専攻における教育システムのクオリティーは他に類を見ないほど高く、このシステムは私たちに付け焼刃のような知識ではなく、それぞれの知識の有機的なつながり、また、それがもたらすより深い理解を与えることを促してくれるのです。

②様々な活動

中国語専攻のもう一つの魅力は、この専攻を主な対象とした様々な活動です。中国語の台詞で演劇をする「中国語劇団」、教授の引率で海外の文化に触れ学習する各種の「研修」などがあります。これらは中国語専攻に属しているからこそ味わうことのできる貴重なものです。

もちろん中国語専攻の魅力はこれだけでは語りきれません。そんな魅力たっぷりの環境で皆さんと共に学ぶことができるのを僕は楽しみにしています。

留学体験記　4年　中村　剛福

中国語が果たす役割とは？

近年ビジネスの場で中国語を使用する頻度が高く、人口世界一位ということもあり中国語の需要はますます高まっています。実用性で言えば、今や英語に引けを取らない言語だと言っても過言ではありません。

私たちの普段の生活において「中国」を身近に感じることは少なくありません。まず思い付くのが世界三大料理の一つでもある「中華料理」でしょう。中華料理には“**八大名菜**”（中国八大料理）と呼ばれるものがあり、北京料理などが挙げられます。私は北京の大学に一年間留学し、その時に様々な中華料理を食べました。北京ダックなど有名なものから現地ならではのちょっと変わった料理もあります。北京観光のスローガンに“**不吃烤鸭真遗憾**”（北京ダックを食べないなんてなんともったいない！）というものがあります。現地の人達と交流しながら“本場”の中華料理を味わうのは格別なことです。

また需要の高まりを受け、中国語を学ぶ人が増えています。中国に留学すると聞くと、中国人としか交流がないように感じますが、そうとは限りません。私は留学先で国際交流サークルや野球部に所属し、中国人だけでなく世界各国の友人ができました。

中国と言えば他にも三国志・卓球などここでは挙げきれない程たくさんあります。中国語はそういった文化の理解を深める手助けになるだけでなく、中国または世界の人々とをつなぐ架け橋のような役割も果たしています。

朝鮮語専攻

朝鮮・韓国の言語や文化、社会に関する専門的な知識を身につけたい人。朝鮮語でコミュニケーションする能力を身につけたい人。日本と朝鮮・韓国間の相互理解を深める架け橋になりたい人。現地でも勉強してみたい人。

民族の聖山　白頭山（ペクトゥサン）（標高2,750m）　山頂の天池（チョンジ）（最深部384m）

受験生のみなさんに、朝鮮語専攻の教育課程、学生の海外留学と卒業後進路について、簡単ではありますが、案内いたします。

教育課程の基本的内容は、学年別にみると次のとおりです。

1年生と2年生は、朝鮮（南北朝鮮）の言語の習得が中心です。朝鮮語の音声組織、文法構造、語彙の習得が朝鮮語実習としておこなわれます。これとともに、朝鮮の言語文化と、近現代の歴史・社会のそれぞれについて、講義があります。3年生と4年生は、朝鮮語の語学力そのもののさらなる向上のために朝鮮語演習があります。これと同時に、朝鮮語を基底とした言語・文化・文学についての講義が進められます。3・4年生ではさらに言語・文化・文学の演習があります。これらの演習では、学生自身が言語・文化・文学の中からタイトルとテーマを設定し、学習、研究を進めます。4年生は、卒業するためには、卒業論文を作成しなければなりません。

朝鮮語専攻の学生は、以上のような教育課程を履修しながら、3、4年生になると海外留学する人が少なくありません。留学先はさまざまですが、大韓民国が中心です。留学先大学での修得単位が、本学での修得単位として認定されることが可能な場合があります。

学生の卒業後の進路は、朝鮮語専攻の前身である大阪外国語大学朝鮮語学科以来、多くの卒業生が商社、販売流通、金融、マスコミ、国際交流、公務員（一般、教職、外務など）その他各界で活躍しています。この就職先の傾向はここ数年も基本的に変わっていないようです。卒業生の中には、大学などで研究に携わっている人もいます。

以上が、朝鮮語専攻の教育課程、学生の海外留学と卒業後進路の概略です。

受験生のみなさん、朝鮮語専攻に入学されることを期待しております。

「アンニョンハシムニカ」

안녕하십니까？

学生の声　3年　倉野　莉奈

受験生の皆さん、こんにちは。朝鮮語専攻を目指しているみなさんの為に今日は私の方から朝鮮語専攻について紹介したいと思います。

まず韓国語の特徴は日本語と同じでSOVの語順で構成されていることです。また漢字語と呼ばれるものもたくさんあるので、単語や文法を覚えてしまえば、ある程度は話せるようになります。ですから、日本人にとってはたいへん学びやすい言語だと言われています。

また、外国語学部と言えば留学と思うくらいに、大半の学生が海外の大学で勉強することを目標にしています。朝鮮語専攻の学生は留学に恵まれており、韓国との交換留学の提携校がたくさんあるので誰にでも留学するチャンスがあります。留学するためには、もちろんハイレベルな言語能力が必要となります。専攻語に関しては、１・２回生で基礎を学び、３・４回生で実践的な内容や文化歴史など幅広く勉強します。特に２回生からは課題の量が多く、予習をするだけでも大変ですが、実力が伸びたと感じる瞬間は嬉しいものです。

このように勉強が大変な部分もありますが、先生方は親切に楽しい授業をして下さるし、何より専攻語の仲間と切磋琢磨しながら学生生活を送ることはとても楽しいです。来年皆さんとお会いできることを楽しみにしています。

留学体験記　4年　森　有希

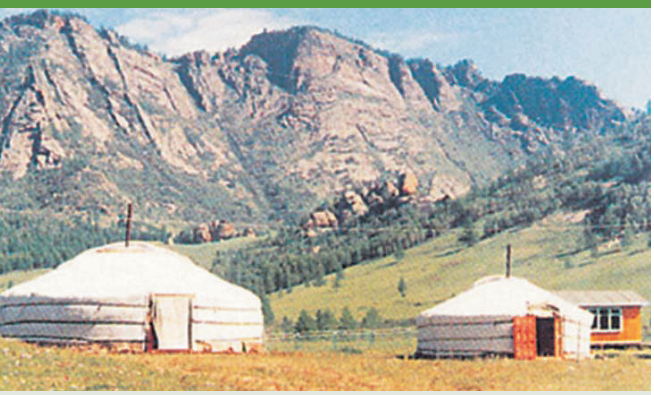
私は韓国ソウル市内にあるソウル大学校の国語国文科に約１年間交換留学しました。初めは文化の違いや超高速スピードで話される韓国語に慣れず苦労もしました。しかし、今考えると語学力の向上だけでなく現地でだからこそ得られたものも非常に多く、朝鮮語を専攻し留学にもあきらめないで挑戦し本当に良かったと思います。現地では留学に行ったことだけに満足せず、勉強も遊びも後悔しないよう留学生活を送りました。

大学では語学の授業以外にも翻訳スキルや現代文学を扱う授業を履修しました。毎回課題の小説を読んだ上での批評文の作成・発表・討議によって成り立つ授業では膨大な時間と労力が必要でしたが、大変やりがいがありました。また、正規学生と一緒に授業を受けて韓国の学歴社会の影響力を直接感じることもできました。勉学以外には韓国料理を食べ歩いたり、ソウルを飛び出し友達と旅行に出かけたり、韓国チームのスポーツ試合を観戦しに行ったりしました。学校が始まって間もなく、勉強の傍らソウル大学のバレーボール部の活動にも参加しました。練習・合宿・大会以外にもメンバーと留学期間の大部分を共に過ごし、かけがえのない仲間を得ることができました。

留学をするにあたって最初は不安ばかりでしたが、充実した留学生活を送れました。現地で出会ったすべての人・物に対し、感謝の気持ちで一杯です。留学を迷っている方はぜひぜひ挑戦してみてください！

モンゴル語専攻

モンゴルの言語と文化に強い関心を持ち、モンゴル語を習得してモンゴルの異文化の多様性を積極的に学ぼうとする明確な目的をもった情熱ある人。



モンゴルの住居、ゲル

モンゴル語は、チュルク語（広義のトルコ語）、満洲・ツングース語と共にいわゆるアルタイ語族を形成します。印欧語のような屈折的特徴は少なく膠着性に富んでいます。語構成は語幹＋接尾辞からなります。語順は、主語＋目的語＋動詞の順であり日本語と同じタイプです。

モンゴル文字で記された最古の資料は、いわゆるチンギス・ハーン碑文であり西暦1225年頃にさかのぼります。チンギス・ハーン以来のこの文字は、現在でも内モンゴルを中心とする中国の諸地方で使用されています。モンゴル国（旧モンゴル人民共和国）では、1940年代に文字改革に踏み切り、このモンゴル文字よりキリル（ロシア）文字に切り換え、新たに正書法が定められ、今日に至っています。

前期課程（1年・2年）では、モンゴル語実習が各学年それぞれ5教科、必修科目として課せられます。L.L.授業を含む実習によりモンゴル語の運用能力をこの前期課程でしっかりと身につけなければなりません。もちろん、モンゴル人教師による授業も各学年、必修教科として設けられています。後期課程になりますと、語学、文学、文化等の分野別の講義・演習等が設けられ各人の専門としようとする分野を中心とした教科を選択し演習に参加し、最終学年には、卒業論文を提出しなければなりません。

近年、モンゴルと日本との関係も密になってきました。日本からモンゴルへ、そしてモンゴルから日本へと留学生の往来が軌道に乗ってきています。

卒業者の就職は、概して良好ですし、その分野も商社、運輸、報道、出版関係、公務員、教員、外交官等々と多岐にわたっており、最近ではモンゴル語を生かして就職する人も出てきました。また、更にモンゴル学に志を持ち、大学院へ進学する人もいます。モンゴル語、モンゴル、モンゴル民族の文化に深い関心を持った意欲的な学生諸君を歓迎します。

モンゴル相撲

仏教寺院ガンダン

「サイン バイノー」

学生の声　3年　瀬尾　友美

Сайн байна уу? 突然ですが、皆さんはモンゴルってどんな国だと思いますか。遊牧民がいて、草原で相撲をとっている国…？私も入学するまではそう思っていました。でも、それだけしか知らないなんてもったいないですよね。

モンゴルは今発展のさなか。首都は道路が整備され、高層ビルが立ち並んでいます。また遊牧民もスマホを持ち、モンゴル人は全般的にfacebookが大好きだそう。私も大学に入り、SNS上でもたくさんのモンゴル人と繋がっています。

そんな近代的な側面の一方で、皆さんの考えるモンゴルの姿ももちろんあります。草原にはゲルが並び、家畜と共に遊牧生活をするイメージ通りのモンゴル。入学当初はモンゴルについて何も知らなかった私も、近代化と遊牧形態が融合するモンゴルに今では魅了されています。また日本との結びつきは年々強くなり、新たな関係性がどんどん構築されていくことに私自身驚くばかりです。

「将来モンゴル語を活かしたい！」「司馬遼太郎の出身学部だから！」「モンゴル語ってマニアックだからノリで受験しちゃった…」など私たちがモンゴル語を学ぶ動機は様々です。しかし、学べば学ぶほど私たちの知らないモンゴルの姿を知り、自分自身の価値観を大きく変える発見の連続があります。そしてその発見を、ぜひあなた自身で確かめてみてください。

留学体験記　3年　藤松 あかり

一度は専攻語の国に行って文化に触れて現地の空気を味わいたいという気持ちから、2年生の8月に6日間モンゴルに滞在しました。

滞在中はホームステイ先の方にモンゴルの観光地や名所にたくさんに連れて行っていただきました。中でも印象に残っているのはテレルジでのゲル宿泊体験です。憧れのゲルに宿泊し、馬に乗って1時間ほど草原を駆け回りました。また夜には日本では見られないほどの満天の星空を眺めました。モンゴルを訪れた際にはウランバートル郊外に行ってモンゴルならではの伝統的な生活に触れると良いと思います。家の方とモンゴル料理を作ったり伝統的な遊びを教わったりと、生の文化に触れることができたのもモンゴルに実際に行って良かったことの一つだと思います。また先生の紹介でモンゴル人女性の家にホームステイすることができた上、その方は日本語が通じたので安心して行くことができました。とても優しくしていただき、モンゴルでの滞在は本当に快適でした。専攻語の国に行けば授業で習ったことが活かせて実力が付き、今後の勉強の糧になることは間違いありません。ぜひ専攻語の国を訪れ、知識を深めてほしいと思います。

インドネシア語専攻

新しい世界への限りない関心を抱き、知らなかったことを知る喜びを求める若者にとって、大きくて深いインドネシアは「やってよかった！」と思える国。既成の概念を越える柔軟な思考をもつ学生を求めます。

アチェの中央モスク

インドネシアは約2億4千万人（世界第4位）の人口をもつ、東南アジアの群島国家です。1945年に独立を宣言しました。

インドネシア語は、マレー語を母体として独自の発展をとげた、インドネシアの国語です。ローマ字で表記され、文法も難しくないため、今では全国に普及しています。一方、インドネシアには数百の地方語があり、日常生活においてはインドネシア語と共にそれぞれの地方語が使われています。

広大な国土と多様な民族集団をもつインドネシアに関して、私たちは何を学ぶことができるでしょうか。

歴史をひもとけば、ヒンドゥー・イスラム諸王朝の時代、オランダ植民地時代、日本占領時代、そして独立後の激動の歴史が私たちを惹きつけます。1998年の民主化を経て、インドネシアは新しい時代を迎えています。

各地に目を向ければ、多様な文化と社会があります。スマトラ島には母系制で知られるミナンカバウ人、カリマンタン島には「森の民」といわれるダヤク人、スラウェシ島にはかつて海洋王国を築いたマカッサル人、ニューギニア島にはパプアの人びとがいます。また、ジャワ、バリをはじめ、各地の絢爛たる芸術・文学は多くの人々を魅了し続けています。さらに、現代の芸術、文学、ポピュラー・カルチャーは同時代を写す鏡として興味深いものです。

今日、インドネシア社会は、グローバリゼーションの波の中で、変化をとげつつあります。経済が急速に発展する一方で広まった格差の是正、開発と環境のバランス、多宗教・多民族共存などが課題としてあります。

何を学ぶにせよ、インドネシア語は基礎となります。しっかりと言葉を学び、本当のインドネシアに触れる旅に出かけましょう。広く、大きく、多様なインドネシアは、私たちに多くの生きる手がかりを与えてくれるでしょう。

首都ジャカルタ

インドネシアの子供達

「スラマット シアン」

Selamat siang

学生の声　3年　藤崎　拓海

Kita semua seperti satu keluarga besar.（俺達はみんな家族だ）これは、インドネシア人の親友が僕に言った言葉です。僕はインドネシアのことをよく知らずに入学しましたが、インドネシア語には難しい要素はほとんどなく、習得は想像した以上にスムーズでした。一年生の春休みにインドネシアを旅した僕でも、言葉が通じる喜びを感じることができ、旅先でも帰国してからも、家族のように僕を気遣ってくれるインドネシア人の優しさにふれ、インドネシアのことが大好きになりました。また、学内には多くの留学生がいて、彼らとの交流会もよく行っているので、日本にいながらインドネシア語が上達できるのもこの専攻のいいところです。

ネイティブの先生の授業は１年生の六月からインドネシア語で行われ、そこではそれぞれが自由に設定したテーマで発表したりします。だから、授業はとても楽しいし、飛躍的に話せるようになります。また、専攻語の研究室は我が家のようで、学年に関係なく休み時間を一緒に過ごし、時には先生も一緒におしゃべりやパーティーをしています。休日はネイティブの先生のお家でインドネシア料理をご馳走してもらうこともあります。

さらに、インドネシアは世界的に群を抜いた経済成長が期待されています。そんなインドネシアとつながる僕たちこそが、日本の将来に貢献できるのだと、僕は自分の専攻に誇りを持っています。

限りないインドネシアの魅力を、あなたと共有できる日を楽しみにしています。

留学体験記　4年　宮本 有紀子

私は、3回生の９月から10か月間、インドネシアのジャワ島東部にあるマランという街に留学していました。インドネシアというと、とにかく暑いというイメージがあると思います。しかしマランは「ジャワ島の軽井沢」と呼ばれているだけあって、とても涼しく非常に過ごしやすい高原地帯でした。

留学中は他国の留学生と共に、現地の大学のインドネシア語コースに通いました。言語の授業だけでなく、伝統舞踊や「バティック」という染物を体験する授業もあり、インドネシア文化をさまざまな面から学ぶことができました。

普段の暮らしはというと、現地の一般的な学生と全く同じような生活様式で暮らしていました。1食100円ほどの屋台料理を食べ、お湯もシャワーもない「コス」（アパート）で「マンディ」（水浴び）する生活です。何カ月か住んでいると言葉も上達し、日焼けして見た目もインドネシア人のようになってしまったため、ときどき現地人に間違えられることもありました。

大学生活の中で「留学」するなら、インドネシアのような新興国をぜひおすすめします。日本では考えられないような、新興国ならではの「不便な生活」が、自分自身を成長させてくれ、また、日本の良さを改めて気づかせてくれました。エネルギッシュなインドネシアの人々や、日本が大好きな友人たちに囲まれ、とても充実した留学生活を送ることができました。

フィリピン語専攻

フィリピンの人・ことば・文化に関する研究テーマを多様な学問的視点から考え、それを卒業論文として自らのことばで表現し、私たちが暮らす市民社会に向けて積極的に発信したいと思っている人。研究テーマを深めるために、フィリピン語の言語能力を高める努力を惜しまない人。

サントニーニョ協会（セブ市）

Sayang…… “Ubusin mo iyan, sayang, e.”「もったいないから食べてしまいなさい。」フィリピンの家庭に食事に招かれるとよく言われます。
“Busog na ako.”「いえいえもういっぱいです。」おかずを少し残して感謝の意を示すのが、フィリピンでの奥ゆかしさです。

語尾のngは「ング」ではなく、「ン」と発音して口を軽くあけ、音を鼻にぬきます。「サーヤン」です。ng以外の部分は、ローマ字読みしてやればよく、新たに文字を覚える必要がないことに加えて、フィリピン語を学びやすいものにしています。

Sayang　という語の後には、そこはかとない気持ちが残ります。それはFilipinas（フィリピン）の輝きと翳りを映し出しています。

Tao　人…… Filipinasは、地球上のいたるところに広がる人を除けば資源のない国です。経済大国でも、ましてや軍事大国でもありません。その名は、スペイン・ハプスブルグ王朝のフェリペ王子の名に由来しています。

スペイン人が来る前、Filipinasには、多くの民族が住んでいました。現在でもその数は150を下らないと言われます。そのなかには、キリスト教徒、ムスリム、さらにより人口規模の小さい少数民族が含まれています。少数民族のなかには、グローバリゼーションの下でアイデンティティのみならず、存在の危機に瀕している民族もあります。自然環境を失い、文化や言語を失い、アイデンティティを失うことで、生殖能力まで失いつつあるのです。

同じことは、海外に移住したフィリピン人にも言えます。現在、日本の小中学校では多くのフィリピン人児童生徒が学んでいます。彼ら、彼女らは、学齢期の途中でフィリピンから日本に移り住むことが多く、日本語はもちろん母語についても十分な表現力を獲得できないセミリンガルの状態に陥ることがあります。

こうした問題は、フィリピンの人々のみが直面する問題ではありません。グローバリゼーションのなかで私たちもまた同じように文化の問題、言語の問題、アイデンティティの問題に直面しているのではないでしょうか。

Pag-asa　希望……フィリピン語専攻では、フィリピンの人々と私たちが共有している問題を、皆さんの生き方を通して考えていく姿勢を養って欲しいと考えています。そうした問題は、容易には解決できず、私たちに閉塞感や無力感をもたらすかもしれません。民族紛争のように白黒をつけてはいけない場合もあるかも知れません。フィリピン語専攻の教育プログラムは、教室のなかだけの語学に留まらず、多方向的なコミュニケーションの場を創造し、現実的、現場的視点に立って困難な問題に粘り強く取り組むことのできるリーダーシップを育てたいと思っています。

「クマイン カ ナ バ」
Kumain ka na ba? （もう食べましたか）

学生の声　3年　尾近　令奈

Magandang hapon !!! 受験生の皆さん、こんにちは！同じアジアの国、フィリピンについて、皆さんはどのようなことを知っていますか？ 2013年11月にフィリピンで台風の被害があったことは、皆さんの記憶に新しいのではないでしょうか？私たちの専攻ではフィリピンの言語・社会・文化を学ぶのみならず、被災地への支援活動を行なうなど、充実した学生生活を送っています。被災地への支援活動とは、具体的には、支援資金を集めるために、文化祭やフリーマーケットに出店しました。また、今年の夏には専攻のみんなで被災地を訪れる予定でもあります。

言語についてですが、フィリピン語というとあまり馴染みがない言語だという印象を受けるかもしれません。フィリピンでは英語も通じるのではないか？そう思われる方も多いのではないでしょうか。確かに、フィリピン人は英語が得意な方が多いです。しかし、フィリピン人にとって、英語はあくまで外国語であり、フィリピン人とより親しみを持って接するには、フィリピン語による意思疎通が不可欠なのです。また2014年現在、在日フィリピン人は約22万人であり、中国人、韓国人に次ぎ3番目に多く、フィリピン語の重要性が高まっている時代なのです。

最後になりましたが、フィリピン語専攻は1学年約15人の少人数クラスであり、友達とも先生とも親しくなれるアットホームな点も魅力のひとつです！皆さんも是非フィリピン語専攻にお越しください！

留学体験記　3年　山本　純揮

約10か月間フィリピン国立大学に留学しました。海外経験がなく留学の決断は難しかったものの、先輩たちの後押で挑戦しました。ホームステイ先は私を家族のように扱ってくれました。週末にはよく一緒に出かけ、そのおかげで滞在して間もない私の不安は取り除かれ、生活に早く順応できました。大学の授業が始まると友人の輪が広がっていきました。フィリピン人は社交的で、毎週パーティーを開いて夜遅くまで語り合ううち、楽しみつつ自分の語学力が伸びるのを実感しました。最初は“人との距離が近い”ことに戸惑っても、慣れれば心地よくさえ感じられるでしょう。到着後通い始めた語学学校は先生との距離が近く楽しく学べたので、大学の授業開始後も通い続けました。両方の課題に追われ忙しい時期もありましたが、これが語学上達につながりました。現地学生の勉強への姿勢にも圧倒されました。さすがはフィリピン屈指の国立大、どの学生もプレゼンやスピーチにおける自己アピールに極めて優れており、私の勉強へのモチベーションを高めてくれましたし、帰国後も大いに刺激となっています。留学生活は私一人の力では決して成り立たず、日本から連絡をくれる家族、大学の先生方、友人、現地では、ホストファミリー、友人、他の留学生たちの暖かさに、何度も救われました。日本の外に出て初めて気付かされた人と人とのつながりの大切さこそが、私がフィリピンで学ぶことができた一番大きなことです。

タイ語専攻

タイ語による実践的コミュニケーションの能力を養い、かつそれを基礎にタイの社会的文化的ダイナミズムに対する深い洞察力を身につけたいと考える人。

タイといえば稲作・象・ムエタイ・仏教寺院というイメージを持つ人が多いと思いますが、現在のタイ国は、農林漁業就労者の人口が全就労人口の50%を割り、工業化とサービス産業を中心とした経済成長を遂げている「中進国」です。このようなタイの経済・工業化にもっとも深く係わっている国が日本です。たとえば、タイの自動車産業は東南アジアの中心的役割を担っていますが、日本の大手自動車・自動車部品メーカーがそれを支えています。

タイは、豊かな自然環境、開放的で自由な雰囲気、安定した社会体制、物価の安さなど、外国人にとっても大変居心地の良い国でもあり、タイを訪れる日本人観光客は年間100万人を超えます。長期滞在をする日本人の数も届出だけで4万4千人、短期滞在ビザで長期滞在する人を含めると、6万～7万人の日本人がタイの様々な分野で活動しています。また日本国内には、留学生を含むタイ人長期滞在者が4万人以上居住しています。このように、日本とタイは人的交流の上でも密接な関係を持っており、60数年の歴史を持つタイ語専攻の卒業生は、日タイ間の架け橋として、日系企業の駐在員、日本政府関係の職員、大学・高校の日本語教師など、タイ国の各方面で多数活躍をしています。バンコクの同窓会の活動は、他の大学の同窓会に比べて大規模で活発です。

タイ語専攻では、タイ語の運用能力を養いながら、タイについての総合的な知識を学ぶためのカリキュラムを組んでいます。1・2年次にタイ語の基礎を学び、その上で3・4年次にはタイの言語、社会・文化、政治・経済、文学、歴史について専門的に学べるようになっています。また、交換留学の協定を結んでいる大学が多いので、3・4年次にタイの大学に留学する学生も多数います。外国語学部をはじめ、大阪大学に留学しているタイ人留学生との交流も盛んで、授業だけではなく、キャンパスライフの中でタイの人と接する機会が多いのも特徴です。

「サワッディー」

สวัสดี

学生の声

4年　沼田　歩

「何となく選んだタイ語だけど、気づけばタイ抜きには語れない学生生活になっていた…」

タイ語専攻にはこのような人が大勢います。そして私もそのうちの一人です。入学当初はタイといえば、象…。その程度の認識でした。しかし気づけば留学先もタイ、アルバイト先もタイ料理店。まさに「タイ漬け」の学生生活。一体何が私をそうまでさせたのでしょう…

まずタイ語専攻が持つ魅力。それはチャンスの多さと居心地の良さです。タイ語専攻は留学協定校の数が非常に多く、また1，2年次に自分達で計画・実行するタイ農業学校研修旅行が恒例行事となっており、多くの貴重な経験を積むことができます。そしてクラスが少人数であるため仲が良いこと、他学年との交流が盛んであること、先生方が大変熱心かつフレンドリーであることから、タイ語専攻の皆と送る日々は大変充実しているように感じます。

そしてタイという国が持つ魅力。これは一言では言い表せません。ただ、おおらかな国民性、やみつきになるタイ料理、発見がいっぱいの仏教信仰、ゆるやかかつ活気溢れる町の雰囲気、タイは人を虜にさせる要素がぎっしり詰まった大変魅力的な国だと思います。

近年タイへ進出する日系企業が増えているにも関わらず、まだまだ学習人口は少ないタイ語。学んでおけば、いつかあなたがタイ日の架け橋になる日が来るかもしれません。素敵な仲間や先生と共に、タイ抜きには語れない学生生活を送ってみませんか？

留学体験記

4年　津田　歩美

私は2013年の5月から約10か月間タイのチェンマイ大学へ留学しました。チェンマイは、かつて北タイ一帯を治めたラーンナー王国の首都として栄えた、文化的にも歴史的にも魅力的なタイ北部最大の都市です。大学ではタイ人の学生と一緒に授業を受けていました。現地の学生用の授業はついていくのが大変でしたが、友達が助けてくれたり先生方が色々と気にかけてくださったりしたおかげで、無理なく頑張ることが出来ました。

大学の授業以外でも、タイでの生活は毎日がとても充実したものでした。タイ人の友達は気さくで優しく、一緒にいて楽しい人ばかりで、外国人の私に対して線をひくことなくひとりの友人として接してくれます。一緒にご飯を食べたり（タイは外食文化なので、友達とご飯を食べることが多いです。）、遊びやイベントに連れて行ってもらったり、友達の家に泊まりに行ったり。そんな中でたくさんの話をし、毎日新しい発見がありました。

留学当初は言葉もままならず、慣れない土地での生活も不安で、しんどい時期もありました。しかし間違いを恐れずに、積極的にタイ語を話す努力をすることで仲の良い友達ができ、話すことがとても楽しくなり語学力は大きく伸びました。留学中は考える時間がたくさんあるので、自分自身を成長させるきっかけにもなります。皆さんにもぜひ留学に行ってほしいです。貴重な経験と素晴らしい友人、そしてとても充実した日々が待っているはずです。

ベトナム語専攻

ベトナムに強い関心を持ち、言語、政治、経済、文化などの学習に意欲的な人。そして、学んだことを生かして、国際的な仕事につきたい人。

ベトナム社会主義共和国は東南アジア大陸部の中で8700万人という多数の人口を誇り、急速な経済成長を遂げる文字通り「元気」な国の代表です。そして我がベトナム語専攻は、大阪外国語大学時代の古き良き伝統を維持しつつ、新しい時代に向かって進化を遂げ続ける、本国に負けない「元気」な専攻の一つです。

古き良き伝統とは、まず「大家族ベトナム　Dai gia dinh Viet Nam」を正に体現する専攻内の結束の強さです。これはベトナム戦争を勝ち抜いたベトナム民族の結束とその力強さを誰もが学ぼうとする気持ちの現れともとれます。ベトナム人留学生と日本人学生とが肩を寄せ合って一緒に勉学する姿もベトナム語専攻の特徴の一つです。初級・中級を終えた3，4年生の授業では、ベトナム人と日本人が一緒に参加する授業がいくつかあります。そこでは、互いにベトナム語で議論する光景がしばしば見られます。日本にいながら常にベトナムを感じつつ、ベトナムの良さを学ぼうとする学生で溢れています。また、ベトナムの誇る「孝客hieu khach」（客をもてなす）文化もちゃんとここにはあります。分け隔てなく客人をもてなす上級生達が、皆さん新入生を心から手厚く歓迎してくれることでしょう。

ところで、ベトナムと日本の関係は意外と古く「天の原ふりさけ見れば春日なる三笠の山に出でし月かも」の歌でお馴染みの阿倍仲麻呂の時代にさかのぼります。中国で科挙の試験に合格し官僚となった仲麻呂は、当時安南都護府と呼ばれた地に趣きます。そこは取りも直さず今のベトナムの首都ハノイの辺りだと言われています。今のベトナムに目を向けても、箸や爪楊枝を使い、米を主食とする食文化、かつては漢字を使った歴史、誰もが認める「勤勉さ」に加えて、日本語の敬語にも通ずる相手を気遣う言葉使い、昔どこかで見かけた様な田園風景など、我々日本人が自分のルーツを探ろうとする時、一度はそこに立ち止まりたくなることばかりです。「水を飲んで源を思うUong nuoc nho nguon.」日本人として知るべきことの多くを教えてくれる大切な国です。

「家に入っては俗に随えNhap gia tuy tuc」ベトナムに興味のある人はもちろん、選択に迷っている諸君も、まずはここに身を置いて、その空気を思う存分吸ってみて下さい。必ずや有意義な学生生活が待っていることを約束します。

最後に言い忘れましたが、ベトナム語専攻では女性陣の声が大きく逞しいことも彼国と同じです。「一に奥さん、二に神さんNhat vo, Nhi troi」男性諸君、負けずに頑張ってください。

「シーン　チャーウ　カーック　バーン」

Xin chào các bạn!

学生の声

2年　木川　眞穂

Xin chào các bạn! みなさんこんにちは！みなさんはベトナム語と聞いて何を思い浮かべますか？それでピンとくる人はあまり多くないのではないかと思います。でも大丈夫。私もそうでした。ベトナムについて学んでいくうちに不思議とベトナムのことが大好きになり、またたくさんの方に「今ベトナムは経済発展が著しいから、ベトナム語が喋れたらこれから強いよ～」と言っていただき、ここを選んだことは間違っていなかったんだなと実感しています。

そして、何と言っても仲の良さ！ベトナム語専攻は自他共に認める仲の良さで、これだけはどの専攻語にも負けない自信があります。教授陣との距離も近く、毎日わいわい楽しく勉強しています。また、顔合せ会や揚げ春巻き試食会、夏まつり、語劇祭に追いコンと楽しいイベントも盛りだくさん！春休みには日本国内を飛び出して、同回生でベトナムにまで行ってきました。

ベトナムは本当に活気あふれる街で、そこにいるだけで笑顔になれる場所です。ベトナムの方々は、私たちが日本人であるというだけで喜んでくれましたし、拙くてもベトナム語を喋った時にはもうテンション急上昇！至る所で人の温かさに感動した旅でもありました。

ポップでカラフル！エネルギッシュ！人は優しく、料理は最高！みなさんも、わたしたちと共に、ベトナムの魅力にどっぷりはまりませんか？

留学体験記

4年　仙元　惇史
3年　森山　結以

フランス統治時代の趣と東南アジアの活気が混在するベトナムの首都、ハノイ。そこには日本で暮らす私たちには想像もつかない光景が広がっている。無数のバイク、鳴り止まないクラクション、活気に満ちた市場、プラスチック製の椅子を路上に並べただけのカフェ・・・留学初日、それらのすべてを目の当たりにした私たちはこれから始まる生活に胸を躍らせた。朝6時、ニワトリの鳴き声で目を覚まし、80円のフォーを食べてから学校へ。3時間休み無しでベトナム語を学習した後は、ベトナム人の友人たちとバイクで市街地へ繰り出す。学校では習うことの出来ないベトナムの若者文化に触れる度に、少しずつベトナム人に近付いていくような気がした。

ベトナム人のもてなしの心は厚く、家に遊びに行くと家族総出の出迎えが待っていた。ハスのお茶に始まり、店では食べられないたくさんの家庭料理や季節の果物で歓迎し、外国人の私たちに優しく話しかけてくれた。帰り際には手土産を持たせ「またいつでも遊びに来てね」と笑顔で言ってくれる。このような貴重な経験によって私たちの留学生活はより充実したものになった。

帰国した今でもベトナムの友人たちとは連絡を取り続けており、彼らは「ベトナムに帰っておいでよ！」と言ってくれる。留学を通してベトナムという国が私たちの第二の故郷となったことは間違いない。

ビルマ語専攻

異言語を学ぶことは異文化を擬似体験することです。ビルマ語の勉強を通して、ミャンマーの土地に育まれた人々の生活、ものの考えかたや感じかたにふれてください。きっと興味深い世界が拓けることでしょう。

イラワジ河畔の船着き場で船を迎える子どもたち
（マグエ省バコク市、1998年8月）

「おもしろい文字ですね」
「目の検査のようですね」

検眼表の円い図形や知恵の環を思い起こさせるユーモラスなビルマ文字で書かれたビルマ語は、ミャンマー連邦（1989年対外的な英語呼称BurmaをMyanmarに変更）の公用語であり、6,242万（2011年推計）国民の共通語（母語人口はその4分の3強）です。

ビルマ語の最古の文献は通称ミャゼディ碑文（1112年）で、四面体の石柱にバガン朝のチャンシッター王の遺徳を讃えた顕彰碑がモン語・パーリ語・ピュー語・ビルマ語の4つの言語で刻されています。今では死語となったピュー語が含まれていることから、この碑文は「ビルマのロゼッタ石」と呼ばれたことがあります。

ビルマ語の話し手の社会は、インド文明とシナ文明の影響を受けた点で、また、稲作文化を基調とする点で、東南アジアのほかの地域との共通性をもっています。宗教的には、南伝上座部仏教を信仰する人たちの社会と、社会規範や価値観を共有しています。さらには、少数民族との接触による文化の相互作用も、東南アジア大陸部に共通にみられる現象です。こういった関心は、遠く北方の雲南・貴州の地の人々の文化にも私たちを誘（いざな）ってくれるでしょう。

ビルマ語を専攻言語として選ぶ人たちは、当然のことながら、まず、ビルマ語の運用能力を身につけることが求められます。そして、その背後にある基層文化を言語・文化・社会の各面にわたって、総合的に学ぶことになります。また、関連する言語として、チベット語のほか、カレン語など少数民族の言語も学ぶことができます。

（注：「ビルマ」という地名は、幕末の地理書で、箕作省吾（みつくりしょうご）の『坤輿図識（こんよずしき）』（1845年）にみえる「毘爾満」を嚆矢とするようである。－平田由美氏の教示による）

ミャゼディ碑文
（バガン博物館蔵のA碑文）

「タミン サー ピービーラー」
ထမင်းစားပြီးပြီလား（食事をすませましたか）

学生の声　3年　齊藤　小夏

ミンガラーバー！（こんにちは！）ビルマ語専攻での大学生活は日々の勉強だけではありません。まず、先生のお宅でのホームパーティ。年に何度か、ビルマ人の先生のお宅でホームパーティが開かれます。玄関の扉を開けると、そこはもうミャンマーそのもの。モヒンガー（魚で出汁をとったスープの麺料理）の香り、飛び交うビルマ語、時折披露されるミャンマーの伝統舞踊…。日本に居ながらにしてミャンマー文化に浸れる貴重な機会となっています。

また、語劇祭にも力を入れています。「シンデレラ」、「浦島太郎」に引き続いて、昨年は「三匹の子豚」をビルマ風にアレンジして披露しました。日本人はもちろん、ビルマ人にも大うけの公演でした。

さて、あなたはもう、上の挨拶のビルマ文字を見ましたか。文字に見えない？そうですよね。私も初めてこの文字を見たときは思わず笑ってしまいました。こんなヘンテコな文字が読めるようになるなんて想像できなかったからです。外国語をラテン文字以外の文字で学ぶというのは、初めての経験だと思います。でも、皆スタートは同じです。ビルマ語専攻を選んだメンバーには、東南アジアが好きだったから、文字がかわいかったから、偏差値に合っていたから…など、いろんな人がいますが、みんなビルマ語を使えるようになっています。大丈夫！モヒンガーを用意して待っています！

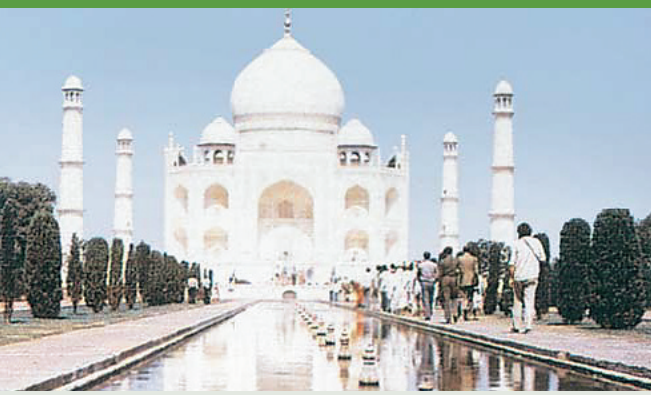
留学体験記　4年　角田 彩佑里

私はミャンマーで唯一外国人がビルマ語を学ぶことのできるヤンゴン外国語大学に留学していました。新学期は12月に始まり９月末に終わります。この間、３月末から５月末まで正月休みがあります。なぜこの時期に正月休み？と思われるかもしれませんが、ミャンマーなど上座部仏教の国は４月が新年なのです。ミャンマーの正月には「水かけ祭り」という派手な祭りが国中で催されていますが私は祭に参加せず、ミャンマー人の友人一家と共に寺院で７日間瞑想していました（写真はその時のものです）。街中で水を掛け合う人々がいる一方、戒律を守りながら寺院で正月を過ごすミャンマー人も多くいるのです。このように貴重な体験ができること、これこそが留学の醍醐味だと思います。

大学の授業は平日の９時から14時までありますが、授業が終わった後の時間をどう過ごすかが語学上達のためには重要となってきます。現在は「ミャンマーブーム」ですが、ビルマ語ができる日本人はほとんどいません。つまり町にはビルマ語を活かすことのできるビジネスチャンスが溢れています！私は新聞翻訳や日本語教師など語学力を活かした仕事を見つけ、仕事を通して更なるレベルアップを図ることができました。ミャンマーはまだまだ途上段階。そんな国だからこそ挑戦できるフィールドが無限に広がっていると思います。ビルマ語専攻を選んだ暁にはぜひミャンマーの地でたくさんのことにチャレンジしてみてください！

ヒンディー語専攻

ヒンディー語専攻は、ヒンディー語を習得し、新しい可能性を秘めたインドの社会と文化の現実を、熱く学ぶ意欲を持つ皆さんを歓迎します。



インドのアーグラー市にあるタージ・マハル

インドの人口はついに12億人を突破し、2045年には中国を抜いて世界一になると言われています。これほどのすごいエネルギーをもったこの国について皆さんはどれだけのことを知っているでしょうか。仏陀、ガンディー、カースト制度、ヨーガ、カレー、貧困、核保有国というイメージが定着しているのではないでしょうか。それらは、もちろん一面の事実ですが、現実のインドは、立派に民主主義が働いており、めざましい高度成長を遂げつつあり、とくにIT産業の発展はめざましいものがあります。アジアの市場を見るとき、「中国の次はインドだ」といわれるのも無理はありません。伝統的にインドと日本は、仏教という精神文化を通じて交流がありましたが、これからは文化・社会・政治・経済のあらゆる分野での交流が重要となるでしょう。

私達ヒンディー語専攻では、トータルなインド文化理解の前提として、もっとも重要な公用語であるヒンディー語の習得を非常に重視しています。最初の1年間は、徹底的に語学の訓練にあてられます。これを武器として、他大学には真似のできないインド研究を目指しているのです。ヒンディー語をマスターすれば、インドの知識の無尽の宝庫が諸君の前に開かれます。ヒンディー語は語順も日本語とよく似ており、文法も簡単で整然としており、発音は少し難しいものもありますが、一語一語はっきり発音してくれるので非常に聞き取りやすい言葉です。世界で一番多く映画が制作されるのはインドであり、その中でもヒンディー語映画は人気があり、世界中に輸出されています。日本でも近頃、インド映画を見る機会が増えてきました。字幕なしでこの言葉が理解できればどんなに楽しいことでしょう。皆さんの憧れるカッコいいスターに会ってヒンディー語で話すというチャンスに恵まれるかもしれません。

厳しい授業でもヒンディー語学習の楽しさは十分満喫してもらえると信じています。優秀な諸君、好奇心旺盛な諸君、ヒンディー語専攻に来たれ！

インドの500ルピー紙幣の裏上と左下の文字がヒンディー語。右下が英語。左のボックス内にその他の15の言語で500ルピーと書かれている。

「ナマスカール」

नमस्कार

学生の声　3年　人見　眞代

自己紹介で「ヒンディー語を勉強しています」と言った時の周りの「は？？」という反応がもはや快感になりつつある、今日この頃。私にとってヒンディー語は超えるべき壁でもあり、頼りになる味方でもあり、私自身のアイデンティティでもあります。

みんなが話せない言語を話してみたい！という適当な理由で入学を決めた私。正直、こんな気持ちでやっていけるのかなと不安でした。でも、心配御無用。ほとんどの人がそんな感じです。初めからインドの専門家なんて人いませんよ。

1年生の頃は文字、文法、お話などを勉強します。ひと学年20人前後と少人数なので「クラス」としての楽しさがあり、入学してすぐみんなと仲良くなれます。

2年生になると神話や小説など文章の読解が始まります。これが手ごわいのです。神様何人登場するの？辞書載ってないよ・・。予習終わんない・・。一つの言語を四年間で習得するのは楽ではありませんが、その分充実した学生生活だと実感できます。

3年生になるとそれまでの努力が実り始め、同じキャンパスで学ぶインド人留学生たちともヒンディー語のみで会話できるようになってきます。みんな喜んで、びっくりしてくれます。

そして、力説したいのはなんといっても素晴らしい先生方です。こんな先生方に四年間みっちり教えてもらえる機会はなかなか無いですよ。

そして、ヒンディー語が話されているインドはここには書き表せない果てしない魅力と謎があります。もうこれはヒンディー語学んでインドに行くしかない。皆様の入学をお待ちしています。

留学体験記　3年　有松　奨平

僕はインドに留学する前、ヒンディー語はおろか英語もまともに話せませんでした。海外に出たこともなく、インドは何となく恐いイメージがあったので、不安でいっぱいでした。それでも、専攻語と英語ぐらい話せるようにならないと、大学生活何も成したことにならないと思い、留学を決意しました。

僕はデリーに9ヶ月留学し、ヒンディー語の学校の他に英語の学校に行ったり、駐在している日本人の方々にヒンディー語を教えたりして過ごしていました。危険な目に合うこともなく、病気にかかることもなく、楽しく過ごせました。

ヒンディー語も英語も日常会話程度ならネイティブ相手でも臆せずに話せるようになり、たくさんの知り合いもできました。昨今、インドにはたくさんの日本企業が進出してきています。将来起業しようとしている人、日本の教育を変える夢を持っている人。そういう人々と出会う中で刺激を受け、何かインドでやりたいと思うようになりました。僕は服が好きなので、インドでアパレル関係の仕事をやりたいと思っています。

語学を勉強する明確な目的が見つかったので、ヒンディー語を勉強していてすごく楽しいです。たった9ヶ月ですが、今までまっすぐだった僕の人生が面白い方向へ変わったと思っています。

ヒンディー語専攻に入ったら、是非現地に行ってください。そして、勉強した言葉を実際に話してください。多かれ少なかれ、必ずあなたの人生の糧になると思います。

ウルドゥー語専攻

文学、思想の表現手段として、また、多言語社会をつなぐ共通語の一つとして南アジアで重要な役割を果たしてきたウルドゥー語を学習したい人、ウルドゥー語を通じて南アジアの言語、文学、文化、社会を研究したい人を歓迎します。

パキスタンの新郎新婦

ウルドゥー（Urdū）語は、パキスタンの国語です。インドでも主要言語の一つに数えられています。文字はアラビア文字を用いますが、インド・ヨーロッパ語族に属します。

ウルドゥー語は、インド亜大陸を支配したイスラーム教徒たちの用いていたペルシア語の大きな影響を受けて形成された言語ですので、アラビア語やペルシア語の単語が非常に多く含まれています（ペルシア語はアラビア語の影響を受けましたので、ペルシア語には数多くのアラビア語の単語が含まれています）。ですから、ウルドゥー語を習得すると、日本人が中国語の文章の内容を推測できるように、アラビア語やペルシア語の文章の内容をある程度推測できるようになります。また、ウルドゥー語を勉強すると、ヒンディー語やパンジャーブ語など、他の南アジアの言語に関する知識も身につけることができます。

入学すると、1年次から集中的に文法を学びます。会話と発音はパキスタン人の先生が担当します。2年次には中学・高校レベルの教科書を読み、3・4年次には関心に応じて、文学、文化、社会、経済などに関する専門的な授業を選択します。

南アジア研究には英語の文献が不可欠ですが、南アジアの人々の、英語の資料には現れてこない声を聞くことの大切さを学んで欲しいと思います。

パキスタンの小学4年生用のウルドゥー語教科書

「アッサラーム・アライクム」

السلام علیکم

学生の声　2年　織田 明香里

アッサラーム・アライクム。こんにちは。2回生の織田明香里です。ウルドゥー語って、日本では馴染みのない言葉ですよね。マイナー言語…なんて思われがちです。しかし、それは違います。ウルドゥー語はメジャーな言語です！　インドでもパキスタンでも通じるんですよ。ウルドゥー語は南アジア以外でも使われています。マイナー言語なんて言わないでくださいね！

ウルドゥー語を勉強したら、あの美しいアラビア文字が書けるようになるし、

南アジアの人々の心に直接触れることもできるようになるんですよ！どうです、勉強したくなってきたでしょ？

普段の授業についても気になることかと思います。授業は20人弱の少人数クラスで行われています。1年生では、基本的な文法事項をおさえ、2年生からはウルドゥー語の易しい文章を読んでいきます。授業の前にはもちろん予習が必要です。予習で分からないところは、クラスのメンバーでフォローし合って当日の授業に備えます。言語の勉強には、仲間が必要です！　ウルドゥー語を学んで1年が経ちましたが、改めてこのような魅力的な言語、一緒にいて楽しいクラスメイト、そして面白い先生方に出会えてよかったと感じています。

さぁ、あなたもウルドゥー語の仲間に加わりませんか？

留学体験記　4年　酒井　厚志

私は約半年間、パキスタンのガヴァメントカレッジに私費留学生として留学し、ウルドゥー語を学びました。ウルドゥー語は日本ではよく知られていない言語だと思いますが、パキスタンの国語で、南アジアで幅広く話されている言語です。

ウルドゥー語はアラビア文字で表記されます。日本語と違って、右から左へ書き、一見とっつきにくそうですが、慣れると大変面白く、書いていて楽しい文字です。音の響きも美しく、ウルドゥー語はとても魅力的な言語です。

留学中は刺激的な毎日で、新たな発見の連続でした。パキスタンはイスラム教徒が大多数を占める国です。いたる所にモスクがあり、一日五回、礼拝の時刻を知らせる声がスピーカーを通して大音量で流れます。日本とは町の雰囲気が全然違います。比較することで見えてくることがたくさんありました。

パキスタンには客人歓待の習慣があり、滞在中に何人もの方のお宅で美味しいパキスタン料理を頂きました。とても心が温まりました。パキスタンの人たちはとても友好的で親日的です。日本の製品は素晴らしいと何回も褒めて頂きました。留学を通してパキスタンと日本がより好きになりました。外国で生活することには不安があると思いますが、確実に成長させてくれます。みなさんにもぜひ挑戦して欲しいと思います。

アラビア語専攻

日本語も含めた世界の言葉に限りない関心を寄せ、言葉が織り成すあらゆる現象を理解するためにあくなき探求心を燃やし、異文化への遥かな道のりを自分の足でたゆまず歩んでいける人を希望します。

カイロ下町風景

イスラム教徒は1ヶ月の間、一切飲まず食わずで断食する。──まだ本当にそう思っている人がいるかも知れない。アラビア語はイスラムの聖典『コーラン』の言語で、アラビア半島から北アフリカまで広大なアラビア語使用地域を旅するのに、『コーラン』を知っていれば困らずに済むなんて、そんなことを大真面目に説く社会の教科書もありました。アラビア語が世界で一番むずかしい言葉の1つだとかまことしやかな、ありがたくない褒め言葉（？）もいまだにあとを絶ちません。

「何語勉強してるの？」「アラビア語」「へー、珍しい言葉やってるんだネ」。統計では母語話者数でアラビア語がスペイン語に次いで5位だと聞いて、エッと驚き、フランス語は14位だと聞いて、エエッと2回驚くでしょう。大リーグじゃあるまいし、世界の言葉をつかまえてmajor/minor呼ばわりする気はさらさらありませんが、わざわざ悠久の人類史をひもとくまでもなく、この話者数の単純な数字を見ただけで、アラビア語を「珍しい」と見ることが、今どき（いや、ずーっと昔から）いかにズレた認識か分かるはずです。

さあ、重たい上着を脱がせましょう。1枚1枚神話と伝説のよろいを剥ぎとりましょう。「珍しい」とか「特殊」とか、そんなレッテルを貼りたがる人たちの手からアラビア語をとり戻しましょう。魔法の呪文と魔法の絨毯で幻想の世界へ遊ぶためだけがアラビア語ではない。書庫の薄暗がりでランプの明かりを頼りに古文書を読み解くためだけがアラビア語ではありません。泣いて笑って怒ってしょげて、暑ければ暑いと言い、痛ければ痛いと言う「素顔」のアラビア語を学びましょう。単語を覚えてイディオムを増やし、動詞の活用に慣れ、構文の規則を理解し、努力すれば努力しただけ必ず報いてくれる「等身大」のアラビア語を「等身大」のまま、サンサンと降り注ぐ過剰なほどに明るい陽光のもとで。

カイロ大学正門

カイロ大学中庭

「アハラン・ワ・サハラン」

أَهْلًا وَسَهْلًا

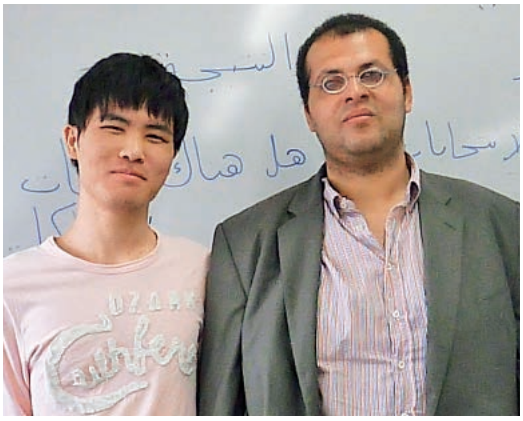
学生の声

3年　大久保　剛

美しい文字に精巧を極めた文法──そんなアラビア語に触れてみたいという思いから入学して2年が経ちました。よく難しい言語と言われるアラビア語、その文法は一見いたずらに複雑なようで、実はとても論理的で美しい規則に従っていて、授業の丁寧な指導に従って着実にアラビア語世界に分け入れば、だんだん自力で歩んでいけるようになります。

3、4年生では、より高度なアラビア語能力を目指すだけでなく、言語・文学・文化などの側面からさらに専門的にアラブ地域について知識を深めます。外国語学部学生の留学は珍しくありませんが、アラビア語専攻も例外ではなく、公的留学制度を利用したり私費留学だったり、毎年数名の学生がエジプトなどのアラビア語圏へ旅立ちます。

仲間とワイワイ楽しみたければ、7月の夏祭りでアラブ料理を作りましょう。日頃の学習成果を発揮したいなら、11月の大学祭参加の語劇祭でアラビア語劇に出演したり、思い切ってアラビア語スピーチ・コンテストに参加したりするのもいい。アラビア語とアラブ地域への理解を深める企画とイベントはなかなか盛りだくさん。アラビア語専攻はあなたの外国語と異文化への知的好奇心を必ずや満たしてくれるはずです。



僕と一緒に写っている方はエルシャルカーウィー先生、今年の4月にカイロ大学から赴任なさったエジプト人の先生です。

留学体験記

4年　藤澤　浩史

昨年、エジプトに語学留学しました。2つの学校に通っていたと自負しています。1つは語学学校と、もう1つは町中の売店。駅の売店などを「キオスク」といいますが、もともとトルコ語だそうで、それに英語が入ってkiosk、アラビア語でも簡易店舗の売店を同じ語源の「コシュク（kushk）」で呼びます。

タバコやお菓子、飲み物を売っているコシュクが僕の第2の、いや、ひょっとしたら第1の学校、僕のエジプト滞在を語る上で欠かせない存在でした。客はコシュクに買い物に来るだけではありません。何かを買うついでに、店主ととりとめもない話をします。エジプト人とコミュニケーションを図るならココだ！　そう思った僕は、学校の授業が終わったら真っすぐ近くのコシュクに駆けつけて、店主や常連客との雑談に加わり、やがて仲間に入れてもらうようになりました。

足繁くコシュクに通って夜も更けるまで話し込んでいると、知らなかった言葉や表現や、エジプト人のものの見方や考え方をうかがい知ることができて、コシュクは僕にとってまさに学校のような、あるいはそれ以上の存在でした。

生きたアラビア語に触れることができたのは留学のお陰です。新しい学習の場を見つけられたのは留学のお陰です。100%その国の環境の中で、100%その国の言葉に浸る。ぜひ皆さんも留学であなたの「学校」を見つけて下さい。

ペルシア語専攻

西アジアの文化や歴史に興味があり、そこの言語を勉強してみたいと思っている受験生諸君をペルシア語専攻は歓迎します。入学してほしい学生は知的好奇心にとみ、それを維持していく知的能力を持った学生です。

シェイフ・ロトフォッラーモスク（イスファハーン）

ペルシア語はインド・ヨーロッパ語族に属し、英語やドイツ語などとは親戚関係にある言語のひとつです。その言語資料の歴史はかなり古く、古代ペルシア語は紀元前6世紀以降アケメネス王朝の王たちが碑文で用いたのに始まります。

私たちが勉強するのはイランがイスラム化された7世紀半ば以降、９～10世紀にかけて文章語として確立された近世ペルシア語です。この言語は、イスラムの影響で、文字はアラビア文字を用い、大量のアラビア語の単語が借用語として入ってきています。

ペルシア語はもともとはイラン南西部の一方言でしたが、イラン文化の発達と拡大に伴い、中世にはイランだけでなく、東は北インド、アフガニスタン、西はトルコ、北は中央アジアにわたる広大な地域で公用語、学術語として用いられ、イスラム世界においてアラビア語に次ぐ重要な地位を占めました。その名残が現代のタジキスタンのタジク語やアフガニスタンの公用語の一つであるダリー語です。これらの言語は、名称こそ異なれ、実体はペルシア語です。

また、多くの優れた文学作品がペルシア語で書かれました。ゲーテは散文学の古典『カーブースの書』やハーフェズの抒情詩集を耽読し、その啓発を受けて『西東詩集』が生まれたと言われています。とくに詩文学に優れ、19世紀のフィッツジェラルドの英訳で世界中に名声を博したオマル・ハイヤームの『ルバイヤート（四行詩集）』、フェルドウスィーによる英雄叙事詩『王書』、イラン人がもっとも愛好するサアディーの『薔薇園』など世界文学史上に名を留める名作が数多くあります。

イラン文化は東西文化交渉史においても大きな活躍をしています。シルクロードを経てイラン文化が日本に渡来し、少なからざる影響を与えたことはもはや常識となっています。美術では、建築、庭園、陶器、絨毯にも名品が少なくありません。

こうした豊かな伝統に支えられたイラン文化をペルシア語の学習を通して学んでいきます。

「サラーム」

سلام

学生の声　4年　千葉　鈴

サラーム！こんにちは。ペルシア語が公用語として話されているのは、日本と同じアジアにありながら、意外と知られていない神秘の国、イラン。イランなんて「いらん」（！？）まあ、そんなこと言わずに。せっかくこのページを開いてくださったのですから、ペルシア語とイランの魅力が少しでも伝えられればと思います。さて、「パラダイス」「パジャマ」「ちゃらんぽらん（！）」・・・これらは全てペルシア語から日本語となった言葉です。実は私たちの身近にたくさん存在するペルシア語ですが、右から左へ流れる美しい字体はもちろん、「中東のフランス語」と称される美しい響きも特徴です。英語と同じ印欧語族に属し、有難いことに割とシンプルな文法構造。日本語話者にはフレンドリーな言語なのかもしれません。ペルシア語専攻全体の雰囲気も、アットホームな温かさが自慢です。新入生歓迎遠足、夏祭り、語劇祭など、全学年が協力して行事を楽しみます。在学中にはイランあるいは英語圏に留学する学生が多く、「日本」「英語圏（欧米）」「イラン（中東）」という3つの視点からものごとを考える力が身に付く、これはペルシア語専攻で学ぶ醍醐味だと思います。みなさんとペルシア語専攻でお会いできること、そして充実した大学生活を送られることを願っています。さあ、ペルシア語専攻に、「ビヤ！ビヤ！」（いらっしゃい！）

留学体験記　4年　松下　知史

私はおおよそ10ヶ月、テヘラン大学付属の語学研修機関で、他国の様々な経歴をもった人々と共にペルシア語とイランの文化を学んでいました。また授業以外にも、授業後に卒論の資料収集のために本屋をめぐったり、同大学日本語専攻の学生と会話の練習をしながらお互いの文化について教えあったり、長期休暇には旅行に出かけて数々の史跡を巡りイランの歴史に触れたりもしました。さらに、日本大使館主催の『日本文化週間』という催しのお手伝いをする機会も与えて頂き、その盛況ぶりに、たくさんのイラン人が日本文化に興味を持ってくれていることに嬉しく思ったこともありました。

イランでの生活は日本と違い、何もかも交渉力次第です。授業登録などすべて自分の力でやらねばならず、入寮の手続きをして部屋を確保するまでの約1ヶ月弱が特に大変でした。それでも親切で世話好きなイランの人々や現地で知り合った日本人、それにルームメイトの外国人など、多くの人々に助けてもらいながら、一日一日とても充実した時間を過ごすことができました。

私は今回の留学を通じてイランの社会・文化と真正面から向き合い、改めてこの国が好きになりました。イランも日本も、今まさに激動の時代にあり、国際情勢は刻一刻とめまぐるしく変化しています。私はこの留学経験をもとに、両国の今後の更なる関係発展に微力ながら貢献できればと思っています。

トルコ語専攻

本トルコ語専攻では、トルコ共和国の言語・文化や社会に強い関心を抱き、その母語であるトルコ語の習得への強い意欲を持ち、高い目標を実現すべく努力を怠らない人を望みます。また将来的にトルコ語を用いてトルコ系諸国の言語や文化、さらには社会について深く学びたい人、さらには自らの考えや思いをトルコ語で発信したいと思う人を求めます。

世界遺産「スルタンアフメト・モスク」

ボスポラス海峡をはさんで、アジアとヨーロッパの両大陸にまたがる国トルコは、日本の2倍強の国土を有し、そこにはおよそ7500万人の人々が住んでいます。

トルコ共和国の公用語であるトルコ語とはどんな言葉なのでしょうか。トルコ語は、いろいろな意味で英語とは違うところの多い言葉です。そのためか、ヨーロッパなどでは、トルコ語は難しいと言われることがあります。では、私たちにとってはどうでしょうか。もちろん外国語ですから簡単なわけはないのですが、それほど難しくはないと言ってもいいでしょう。発音は取っつきにくい点もありますが、比較的早い時期に慣れることができるでしょう。単語の語形変化も規則的で、何ページもある不規則動詞の活用表の暗記に苦しむ、ということはありません。そして、何と言ってもうれしいのが語順です。トルコ語の基本語順は、主語－目的語－述語の順番で、日本語と同じです。前置詞や関係詞などはなく、日本語の助詞のようなもので文法関係を表します。また、文字がローマ字であることも、学習しやすい点のひとつです。

トルコ語は、系統的には、中央アジアで話されているウズベク語やウイグル語やカザフ語、シベリアで話されているヤクート語などと親戚関係にあります。

授業科目を簡単に紹介しておきますと、1・2年生ではトルコ語実習が中心となります。3・4年生では、上級トルコ語、トルコ語文法研究、トルコ文学、トルコ民族史などをはじめとする専門的な授業が組まれています。

社会人となる前に、私たちの専攻で、青春のエネルギーをぶつけて自己形成に挑戦してみませんか。

パジャパー（カッパドキア）

「メルハバ」

Merhaba

学生の声　3年　岡　衿香

Merhaba! こんにちは。今日は皆さんに少しトルコという国の世界を紹介したいと思います。まずトルコはアジアとヨーロッパの間に位置する、西欧とアジアの文化が混合したまさにエキゾチックな国なのです！食文化はというと、トルコはなんと世界三大料理のうちの一つです！皆さんもご存じかも知れませんが、ケバブという料理は私も大好きで、トルコの代表料理の一つと言えます。そして皆さんが一番疑問に思っているであろうトルコ語という言語については、実はトルコ語はほとんどアルファベット文字を用いていて、発音も分かりやすく、そしてなんといっても語順が日本語と同じなのです。つまり、トルコ語は覚えやすく、習得しやすい言語なのです！

トルコはまた親日国としても知られており、今現在経済的にも発展している国の一つで、日本の多くの企業も進出しています。またトルコ自身については、EU加盟に向けて動いており、加盟するか否かについても世界から注目を浴びています。実際に私がトルコを訪れた時、トルコの人々は凄く優しくてサービスしてくれ温かく迎えてくれました。是非機会があれば行ってみてください！

最後に、私達トルコ語専攻は1クラスで編成されており、少人数の特徴を活かした授業を行っています。質問があればその場で解決し、有意義に勉強しています。クラスの仲はもちろん良く、毎日充実した学生生活を送っています！皆さんと大阪大学で会えるのを楽しみにしています！

留学体験記　4年　野見山 真吾

私はボアズィチ大学国際貿易学部に所属し、現地の学生たちと机を並べて授業を受けてきました。はじめは苦労することも多かったですが、授業でのディスカッションや、休み時間にチャイ（トルコの紅茶）を片手に語り合ううちに多くの友人に恵まれ、期末試験までがんばりぬくことができました。

休日には、彼らと一緒に繁華街や観光地へと足を運びました。奇岩で有名なカッパドキアや世界遺産の町サフランボルなど、トルコは観光資源に恵まれた国なので、行き先に困ることはまずありませんでした。しかし、なかでも記憶に残っているのは、そういった有名観光地ではなく、大学の友人の実家です。何もない田舎の町でしたが、お母さんのおいしい手料理と、素朴でありのままの人々の生活に触れて、やっと本当の意味でトルコという国について考えるようになりました。

トルコ語専攻に入学した際にはぜひ留学を志してください。トルコは本当に素晴らしい国です。もちろん、その激動するダイナミズムはある種の脆さも孕んでいます。しかし、そこまで含めて、腰を据えて内側からこの国を見つめられるというのは、最高に贅沢な時間です。宗教や民族、格差拡大、様々な問題に目を逸らさず対峙してきたことは、グローバル時代を生きるひとりの人間として、私を大きく成長させてくれました。みなさんにもあの東西の交叉点で、世界を感じ、歴史を感じ、素晴らしい時間を過ごしてきてほしいと思います。

スワヒリ語専攻

この確かな考えをモノにしようではないか！アフリカの諸問題を同時代的に捉える。これまでの偏見に満ちた「アフリカ観」を打破する。

キリマンジャロの雄姿

アフリカには2000近くの言語があります。その中でも、スワヒリ語は最も主要な言語の一つです。スワヒリ語は東アフリカの共通語として、タンザニア、ケニア、ウガンダなど10カ国以上で話されており、話者数は7千万人を超えています。タンザニアとケニアの公用語であり、東アフリカ諸国の学校教育やマスメディアで用いられている重要な言語です。

本専攻は日本で唯一、学部からスワヒリ語を専門科目として学ぶことができるところです。そして、スワヒリ語を入り口としてアフリカの言語や文化、社会や政治について広く学んでいきます。

スワヒリ語の他に、ナイジェリアの主要な言語であるヨルバ語やハウサ語、コンゴ民主共和国のリンガラ語やコンゴ語などを学ぶことができます。また、アフリカの社会や政治経済、文化、文学などに関する講義科目があり、現地でフィールドワークをおこなっている多彩な研究者から、アフリカのさまざまな民族や社会の様子を知ることができます。ゼミでは、アフリカの諸問題や言語・文化について、各自が興味をもつテーマを選び、みなで議論する中で考えを深め、卒論へと仕上げていきます。

アフリカは現在55カ国を数え、急速な経済発展を見せる一方、植民地時代の負の遺産を背負ったまま、貧困や政情不安、紛争など多くの問題を抱えています。グローバル時代の現代にあって、遠く離れている日本も、アフリカの現状は決して無関係なものではありません。アフリカを深く理解し、アフリカとの関わり方を考えていくことが、国際社会の一員である私達にも求められています。スワヒリ語を学ぶことから、その第一歩を踏み出してみませんか。

アフリカの子供たちは
元気いっぱい

スワヒリ語専攻は
みんな仲がいいよ
（語劇祭にて）

「ハバリ ガニ？」

Habari gani?

学生の声　4年　嘉積　楓花

みなさんは、アフリカについてどのようなことに興味がありますか。紛争や貧困、格差などの問題に取り組みたいと考えている人もおられるのではないでしょうか。

私は、大学で、アフリカンドラム＆ダンスサークルの活動を通じて、アフリカの色鮮やかな衣服や布に興味を持ちました。布の歴史を追っていくと、19世紀初めごろの、アフリカを含めた世界の様子が見えてきました。私が「アフリカらしい」と感じていた極彩色の布は、実は、アフリカオリジナルではなかったのです。この布は、ヨーロッパ諸国がアメリカ大陸から綿花を輸入し、アフリカ向けの製品を大量生産して、アフリカへ輸出していました。布の生産には、奴隷貿易やプランテーション、産業革命などが関わっていたといえます。布ひとつをとってみても、ヨーロッパ諸国が台頭していた当時の世界経済の構造を読みとることができます。

アフリカにおける諸問題を解決したいと考えた時、政治や経済といった学問はもちろん大切です。しかし、アフリカに生きる人々の歴史や文化に触れ、その暮らしに照準を当てることによって、アフリカに対して幅広い視点を得られると思います。スワヒリ語専攻では、そのような視点を活かして、アフリカの諸問題に取り組むことができます。

みなさんの興味のあることなら、どんなことでも良いと思います。スポーツや音楽など、それらのことをアフリカを通して調べてみると、世界の様々なことが見えてきます。みなさんがもつそれぞれの視点から、アフリカに対する学びを共に深めていきましょう。みなさんとujamaa（家族）になれる日を心待ちにしています！

アフリカンドラム＆ダンスサークルでの踊り

留学体験記　4年　豊田　崇史

「開発の現場を自分の目で確かめたい」そんな思いから4年生の春、私は大学を1年間休学してケニアへと渡りました。そこで半年間、農村開発系のNGOでインターンをし、残りの6週間ほど東アフリカを旅行しました。

インターンシップ期間は、都市部から遠く離れた農村地域で農業支援プロジェクトに携わりました。滞在した村は水道や電気などインフラがまだ整っておらず、水を得るために井戸まで汲みに行き、お湯を沸かすために薪を割ることから始める、というような生活でした。自分たちの国がいかに便利な国であるか、身を持って体験しました。村での生活はとてもゆっくりと時間が流れており、日本では決して味わえない独特の感覚でした。畑を耕し、昼寝をし、牛を放牧する。テレビもゲームもインターネットも無く、人とのおしゃべりが何よりの娯楽です。まるでタイムスリップしたかの様なこの生活も、今では良い思い出です。

インターンシップ後の旅行では、ケニア、ウガンダ、ルワンダ、タンザニア、南スーダンの5カ国を回りました。丸三日間バスに揺られたり、高山病にかかりながらキリマンジャロに登ったり、南スーダンで自衛隊の方と遭遇したり、近くで大規模なテロが起こったりと、日本では決して経験することのできない非常に濃い時間を過ごしました。

実際に現場に行くことで、それまでは見えなかった多くの新しい発見があります。大事なことは、「自分の目で見て、何を感じ、何を思い、それを今後どう生かすか」。アフリカでの経験は私に「進むべき道」を教えてくれました。

ケニアの小学生たちと

ロシア語専攻

ロシアという国の社会、歴史、文化、芸術、そして言語に大いに関心を持って、入学してきてほしい。何よりも、様々なことに好奇心を持ち、自分で考えて、将来専門家として歩む自覚を持っている学生を求めます。

エルミタージュ美術館

日本海を越えれば、そこはもう広大なロシアの大地が広がっています。歴史的、経済的、政治的にとても深い関係にあるロシアと日本。この二つの国が、これからの世界で互いに脅かすことなく理解し合い、助け合いながら共に発展していくことは、双方の国にとって、そして世界全体にとってとても重要な課題となっています。

また昨今は、最重要な経済パートナーとして日本の産業界はロシアへの関心を高めており、政治、経済、行政等、様々な分野で、ロシア語能力を持つ人材が広く求められており、卒業生の活躍の場はどんどん広がっています。

ロシア語専攻では、外国語学部でもいち早く統一教材を用いた、総合授業システムを採用しています。総合授業システムとは、話す、聞く、書く、読むというロシア語の4技能を総合的に学習し、全体として、学習言語による実際的な活動を可能にする異文化コミュニケーション・行動能力を高めることを目指すシステムです。クラスは少人数制で、学年ごとの「到達度目標」に従って授業は進められます。

また、モスクワ大学との提携により、ロシア語能力検定試験を導入し、客観的な評価基準による単位認定を行っています。

後期課程(3·4年生)では、ロシアの文学·歴史·経済·言語といった専門分野の研究に加え、同時通訳コースやビジネスロシア語などの高度なロシア語運用能力を育成する授業も開講されており、将来、ロシア語を使った専門職に就くための準備も積極的におこなっています。

みなさんも私たちと共に勉強して、「ロシア」という未知の扉をたたいてみませんか？

日露首脳会談2013年4月29日、モスクワ(ロイター)

「ズドラーストヴィチェ!」

ЗДРАВСТВУЙТЕ!

学生の声　4年　薬師寺 友香

皆さんが「ロシア」と聞いて思い浮かべるのはどのようなことでしょうか？

マトリョーシカ、チェブラーシカ、世界を魅了するバレエ、プーチン大統領、ソチ冬季五輪…。

入学以前の私の中でのロシアのイメージはかなり漠然としたものでした。いざ学びを進めていくにつれて、ロシアに対する私の印象は、世間の抱くイメージとは異なるように感じます。特にロシアの人々は人間味にあふれ、他人思いで本当に温かく、かつ、芯のある魅力的な人たちばかりです。

言語面では、キリル文字を覚え、ロシア語独特の美しい発音も学びます。難しいと感じることも確かにありますが、理解できるようになると、自身の世界は必ず広がると思いますよ。

ロシア語劇での活動においても、先輩後輩の垣根を超え、ロシア語での会話の掛け合いを楽しみながら熱心に取り組みます。おかげ様で例年高評価を頂いています。

ロシア語専攻の大きな特徴の一つは、非常に整った留学制度でしょう。毎年多くの学生が現地に留学し、ロシアを自分たちの肌身を持って感じてきます。私自身も留学に行きましたが、ロシア語しか話せない人と会話できたときは、自分の可能性が広がったのを感じた瞬間でした。

ロシア語やロシアの価値観・考え方を学べば学ぶほど、ロシアの奥深い魅力にはまっていきます。皆さんもぜひ、その一歩を踏み出してみてください。お会いできるのを楽しみに、キャンパスでお待ちしています！

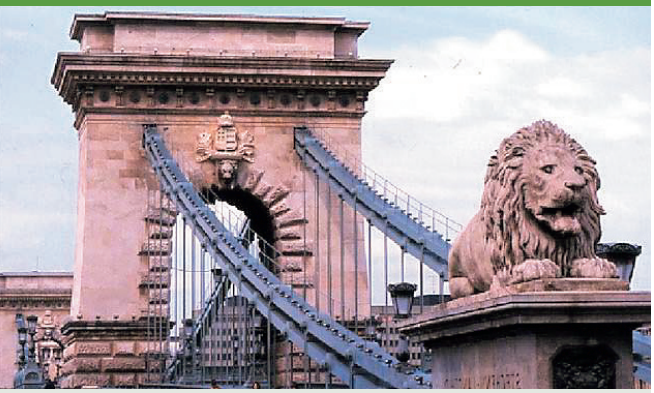
留学体験記　4年　井上　拓也

ロシアへの留学は、大きく進化することのできるチャンスを与えてくれます。まず第一の試練は、様々な国からの留学生の存在でした。同じアジアから来ているにも関わらず、彼らの持っている積極性や意欲は脅威でした。その負けたくないという思いが、いつも受動的だった自分を変えてくれました。授業は基本的に毎日3時間（2コマ）です。しかし更にレベルアップするためには、やはり個々人の主体性が求められます。自分の場合は、試験への合格を目標に突き進みました。多国籍の友人と親交しつつも切磋琢磨し合い、先生方も親身になって協力してくれたので、とても恵まれた環境だったと思います。

そして日常生活も留学の醍醐味の1つです。ロシアはやはり日本とはまるで別世界です。例えばロシアでは、日本のように店員が丁寧ではなく、電話しながら接客したり、こちらに不備があると不機嫌な態度を取ります。また、路上の交通機関では、乗降時ではなく移動中に車掌がお金を回収しに来ます。これらの文化の違いに驚き、時には大変な思いをすることもあるでしょう。しかし、シベリア鉄道で様々な乗客から日本について聞かれ、拙いロシア語ながらも日本の教育システムや宗教、自然災害について説明し認められた時には、外国語を学習することの楽しみを噛み締めました。このような経験は日本国内では得難いものであり、自分の視野や可能性を広げることに大きく貢献してくれました。

ハンガリー語専攻

ハンガリー語とハンガリー語が話される地域の文化・歴史・社会について深く学び、ハンガリーだけでなくヨーロッパ全般への関心と理解をもち、将来大学で学んだことを生かして積極的に社会で活躍したいと願っている人を求めています。



ブダとペシュトを最初に結んだ橋「くさり橋」

ハンガリー語を専攻語として学ぶことができるのは、日本では本学だけです。ハンガリー語は最も新しい専攻語ですが、それでもできてからすでに20年が経ちました。その間に、日本とハンガリーの関係も大きく変わってきました。日本・ハンガリー両国の交流は、1989年にハンガリーが体制転換した少し前から、経済、文化その他さまざまな分野で急速に発展してきました。ハンガリーでの日本語学習熱の高まりもそのあらわれの一つです。ハンガリーは2004年5月にEUに加盟を果たしました。今後、両国の関係はますます発展していくことでしょう。きっと将来、皆さんのなかから、両国関係のさらなる進展に貢献する人が現れることでしょう。

ではハンガリー語とは、そもそもどんな言葉なのでしょうか。不思議な言語だと言われることがあります。そう言われる理由は、ハンガリー語の文法構造や語彙が、他のヨーロッパの言語と比べて、かなり違っているからです。それで、ヨーロッパの人々から見ると、ときに不可解だと思えるようです。でもヨーロッパの外、たとえば日本から見れば、別に不可解なわけではありません。それどころか、日本語と似た点もあるのです。ハンガリー語では日本語の助詞（てにをは）と同じような働きをする要素（接尾辞）が用いられます。なお、ハンガリー語は系統的にはウラル語族に属しますが、ヨーロッパではほかにフィンランド語やエストニア語もウラル語族です。最初の2年間は、ハンガリー語の習得が勉強の中心になります。3、4年生になると、それぞれの興味にしたがって、ハンガリーの言語学、文学、歴史などについて学ぶことができますが、そのときに、1、2年生のときに身につけたハンガリー語を活かすことが大切になってきます。

ヨーロッパの中で、ちょっとほかとは違う特徴をもった言語と文化を、皆さんも勉強してみませんか。きっと今までとはちがう新しい世界が見えてくることでしょう。

「ヨー・ナポト・キーバーノク」

Jó napot kívánok!

学生の声　3年　泉　将輝

Sziasztok! 大阪大学外国語学部ハンガリー語専攻です！こうやって自己紹介するとき、いつも「え、ハンガリーってどこ？」という答えが返ってきます。僕もそのうちの一人でした。ちょこっとだけ説明しておくと、ハンガリーは東ヨーロッパにある人口1000万人ほどの7つもの国に囲まれた内陸の小さな国です。アジアにいる僕たちにとって日常的にヨーロッパの言語、ましてやハンガリー語はほとんど目に触れません。でも、ハンガリー語にふれることによって今まで自分が知らなかった世界がきっと開けると思います！地図で見てみれば小さな国ですが、抱えてきた歴史は壮大なもので、魅力的です！ハンガリー語を勉強してみたら、coachという「馬車」を意味する英単語がハンガリー語のkocsiが起原だったり、ルービックキューブが実はハンガリー発祥だったり、というような発見や驚きがあることでしょう！学習環境に関しても、外国語学部は各専攻語、一学年の人数が少ないのが特徴です。その中でも、ハンガリー語専攻は一学年20人弱もおらず、みんな仲良しです！僕らの学年は男4人、女13人で楽しく勉強しています！その小さな国であなたの大きな夢が見つかるかもしれませんね！すこしでも気になった方は是非一度「ハンガリー」でググってみてください。勉強よりもきっと大事な何かが見つかることでしょう！

留学体験記　4年　遠藤　綾女

海外で生活したいという幼い頃からの夢が縁あってハンガリーで実現しました。授業料免除＋ハンガリー政府奨学金をもらえるお得なプログラムで10か月間、言葉、歴史、文化等とにかくハンガリーについて学びました。3年間ばっちり文法を学んだ私は留学当初、聞けない、話せない自分が悔しかったです。友人とのおしゃべり中も常にメモして、全部吸収してやるぞと一生懸命でした。また、語学留学を経て現地大学に飛び込んで専門用語に奮闘しながら現地学生と共に学び、帰国する頃にはハンガリー語上級の試験を突破できるまでに成長できました。日本ではマイナーな国ですが、レアなハンガリー語話者であることを誇りに思います。ハンガリー人はフレンドリーでもてなすのが大好きです。現地で知り合った友人は、家族で過ごすクリスマスに呼んでくれたりありったけのご馳走を振舞ってくれたり、びっくりしてしまうほどでした。小さな街でハンガリー人のおばあちゃんと一緒に暮らす機会もありました。孫のようにかわいがってくれ、何時間も喋り続けて気が付けば真っ暗なんて日々は宝物です。また、会話練習の為に以前より一人のハンガリー人とスカイプしていたのですが、何度か実際に会うことができました。なんだか不思議な感覚でしたが遠く離れた国にそんな友達がいて嬉しいです。長期の海外生活はいい刺激になるはずです。私自身たくましくなれたし、素敵な出会いに恵まれてとても幸せに思います。

「ゴデー」　「ハイ」

Goddag!　Hej!

（くだけた言い方）

学生の声　3年　小泉　尚永

高2の夏、外国語学部のオープンキャンパスでデンマーク語専攻のことを知り、なぜか「自分が来るべき所はここだ！」と思いました。あれから4年が経ち、今度は自分がデンマーク語専攻の学生として受験生の皆さんへこの文章を書いているということに驚きと喜びを感じています。

さて、デンマーク語専攻についてお話したいと思うのですが、その前に皆さんはデンマークについてどのようなイメージを持っていますか。北欧デザイン、美しい街並み、充実した福祉社会、国民の幸福度第1位、そして美女イケメン……とにかくデンマークという小さな国には、とてもたくさんの魅力が溢れています。そんな魅力的な国の言語を学ぶことができるのが、ここデンマーク語専攻です。

もちろんここで学ぶことができるのはデンマーク語だけではありません。デンマーク、ひいては北欧の歴史、文化、社会など自分の興味に応じて様々な事を学ぶことができます。学年が上がるにつれ、大学で学んだデンマーク語の知識を活かし、デンマーク語の文献を読むという機会も増えるでしょう。

今まで外国語というとほとんど英語しか勉強してこなかった皆さんにとって、北ヨーロッパの小さな国の言語を専攻するということは勇気のいることかもしれません。しかし、マニアックな専攻だからこそ、ここでしかできないことがあると思います。皆さんも、おとぎの国デンマークについて一緒に学びませんか？

留学体験記　4年　堀田　千尋

私がデンマークで過ごした11ヶ月は、日本で大学生活を普通に送っていたら絶対に経験できない、しようと思いつきもしないことで溢れていました。

まず、これでもかというほど自然と戯れました。学校から歩いていける海でのカヤック、森でテントを張ってのキャンプ、クライミング、サウナ作り、さらには5日間風呂トイレ無しテント泊の登山にも参加しました。体力的にも精神的にも辛いこの旅を終えたあとほど、暖かい屋内で温かい食事をし温かいシャワーを浴びて清潔でふかふかのベッドで寝られることの幸せを感じたことはありません。

そしてやはり留学中に得たかけがえのない経験は人との出会いです。デンマーク人だけではなく他の国からの留学生も多く、様々な刺激を受けすぎて相手が約束の時間に現れなかったり急に踊り出したりポケットから生のニンジンを取り出して食べ始めたりしても全く動じなくなりました。また紛争などの理由からやむを得ず母国を離れてデンマークで移民として暮らしている人との出会いもたくさんあり、その出会いはこの留学中のもっとも貴重な経験のひとつとなりました。私と同年代かそれより年下の子たちが耳を疑うような辛く苦しい経験をしていて、でもそんなことを全く感じさせないほど陽気な彼らに何度も元気づけられました。

この11ヶ月でデンマーク語が劇的に上達したとは口が裂けても言えませんが、留学で得たものは本当に大きく、一生の宝物となりました。

デンマーク語専攻

デンマーク語の習得に強い意欲をもち、それを駆使してデンマークの言語・文学・社会・歴史のいずれかを積極的に探求しようとする人。

森の中での自然保育

デンマーク語専攻、スウェーデン語専攻は最初、1966年4月に大阪外国語大学デンマーク語学科として開設され、1985年4月にはスウェーデン語課程が加えられデンマーク・スウェーデン語学科となりました。そして、2007年10月から大阪大学外国語学部デンマーク語専攻、スウェーデン語専攻として新たにスタートしました。国立大学では唯一の北欧に関する教育機関です。教育の対象は、デンマーク、スウェーデンを中心とする北欧の言語、文学、社会、歴史です。2年次までは専攻とするデンマーク語またはスウェーデン語の一方を集中的に学習します。「読み、書き、話す」に同じ比重が置かれ、外国人教員は最初の段階からデンマーク語もしくはスウェーデン語のみで授業を行ないます。また、最初の1年間はデンマーク語の学生、スウェーデン語の学生が他専攻あるいは他学部の学生たちと一緒に受講する北欧事情の講義もあります。また、2年次にはデンマーク、スウェーデンの文学、社会、歴史に関する概説的な講義もあります。3年次になると、自分の関心分野に応じて、言語、文学、社会、歴史いずれか1つの特別演習（ゼミ）を選択することになります。授業を担当するのは、デンマーク、スウェーデンそれぞれ言語、文学、社会、歴史を専門とする教員です。ちなみに、3・4年次ではもう一方の言語やノルウェー語、古アイスランド語も学習する機会が与えられます。

外国語の学習は元来積み重ねですから、予習・復習は絶対に欠かせません。十分予習した上で授業に臨まないと、学習効果は上がりません。デンマーク語とスウェーデン語は、ノルウェー語、アイスランド語、フェーロー語とともに北ゲルマン語を構成しています（北ゲルマン語は英語、ドイツ語、オランダ語などと系統的に近い関係にありますが、北欧地域圏で話されているフィンランド語やグリーンランド語はまったく別系統の言語です）。北ゲルマン語はフィンランドの一部を含めると北欧では約2千数百万人によって使用されています。このうち、デンマーク語、スウェーデン語、ノルウェー語の3言語の話者の間では、時には多少の困難があるにせよ、それぞれの言語を用いて相互に意思の疎通ができます。したがって、これらの1言語を会得すれば、他の2言語もかなりの程度まで理解できます。文字の特徴としては、英語で使われる26のアルファベットの他に、デンマーク語・スウェーデン語・ノルウェー語には、å（3言語共通）、æ、ø（デ、ノ）、ä、ö（ス）があります。北欧の言語を理解できる人は日本には多くありません。新入生はパイオニアの意気込みをもって励んでもらいたいと思います。そして、福祉制度や民主主義が確固と根をおろしている北欧の国々を深く知ることによって、世界を複眼↗

スウェーデン語専攻

スウェーデン語の習得に強い意欲をもち、それを駆使してスウェーデンの言語・文学・社会・歴史のいずれかを積極的に探求しようとする人。

カール・フォン・リネーのハンマルビー別邸（ウップサーラ郊外）にて

的に展望し、文化はもちろん、国際情勢もグローバルな視点から把握する能力を身につけてほしいと思います。

北欧を実地体験して理解する１つの手段として留学や現地での夏期語学講座参加も大いに考えられましょう。デンマーク語を専攻する学生たちの場合は、デンマーク政府の奨学金（９～10ヶ月間）による国費留学生として、毎年日本から５名デンマークに留学できますが、本学からは１～２名がこれに合格しています。また、２・３年生のときにデンマーク政府の短期奨学金（２週間）を得て、現地でデンマーク語の夏期講座に参加する学生も毎年３～４名います。さらに私費でフォルケホイスコーレという自由な学校に半年間、あるいは１年間留学する学生も若干名、また、夏季に私費でフォルケホイスコーレにおいてさまざまな種類のコース（デンマークの文化と言語、工芸、ダンス、音楽など）に参加する学生も多数います。

一方、スウェーデン語専攻でも、私費になりますが、主として３年次になると８月の中旬から翌年の６月中旬まで自ら進んでスウェーデンのフォルクフーグスコーラに留学する学生が多くいます。また、毎夏スウェーデンで開催される３週間程度のスウェーデン語サマーコースに大学の夏休みを利用して参加し、スウェーデン語をブラッシュアップする学生たちもいます。コースはスウェーデン政府の海外スウェーデン語教育支援機関Swedish Instituteにバックアップされているため、短期とはいえ内容は充実しています。ところで、このSwedish Instituteより本学のスウェーデン語専攻は長年の日本におけるスウェーデン語教育・研究を高く評価され、「2007年スウェーデン語教育・研究大賞」を授与されました。

なお、本学はデンマークのコペンハーゲン大学ならびにスウェーデンのイェーテボリ大学と学生交流の協定を結んでおり、毎年コペンハーゲン大学、イェーテボリ大学へ若干名の学生が留学することができます。2010年には南デンマーク大学人文学部と部局間協定が結ばれ、デンマークの留学先の幅がさらに広がりました。

卒業生はメーカー、商社、金融機関、旅行社、マスメディア、北欧資本の大企業、公務員、教育研究機関、北欧各地の日本大使館や駐日の北欧の大使館などで活躍しています。また、卒業後さらにデンマークおよびスウェーデンの語学、文学、現代社会、歴史について研究を続けたい人は本学大学院言語文化研究科言語社会専攻へ進学することも考えられましょう。

みなさんが、今後日本における北欧学の最先端の役割を担うことを期待しています。

「ゴダー」 Goddag!　「ヘイ」 Hej!
（より日常的な挨拶）

学生の声

3年　横井　卓真

皆さんはスウェーデンが平等で知られていることはご存知ですか？男女間はもちろんのこと、職場においても年齢などの上下関係の壁がありません。このスウェーデン語専攻においても同じです。6月には夏至祭、12月にはルシーア祭などのイベントを開き、学年関係なく楽しく過ごしています。学部規模の伝統行事では夏祭りや語劇祭があり、専攻語内で一人一人に活躍の場があります。キャンパスには留学生も多く、毎年、スウェーデンやフィンランドからの留学生とスウェーデン語で交流する機会も十分にあります。

私自身に関して言えば、スウェーデンに関するテレビ番組を観て、スウェーデンをもっと知りたいと思い、スウェーデン語専攻への入学を決めました。2年次には旅行で二度、スウェーデンを訪れました。テレビや本では伝えられていない魅力があまりにも多く、人々の温かさや町の空気など目では見えないたくさんの魅力で溢れています。はっきり言って、スウェーデン語専攻での学びは決して楽であるとは言えません。しかし、その分確実にスウェーデン語能力の向上を実感することができ、ここで学べば学ぶほどスウェーデンのより多くの魅力に気付くことができます。皆さんもこのスウェーデン語専攻で、自分だけの魅力を探してみませんか？

留学体験記

4年　加藤　彩乃

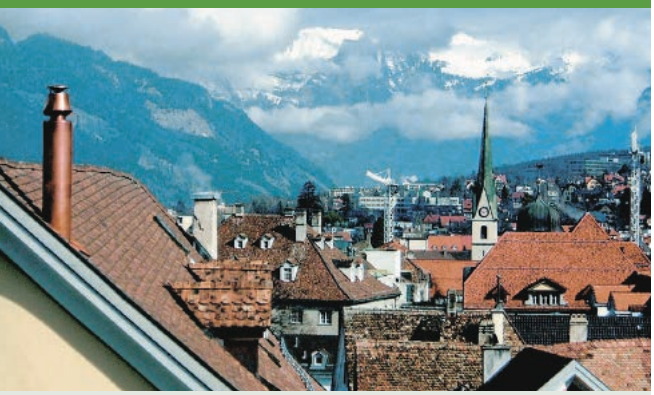
私は2012年の8月から3週間のサマーコースと10か月の交換留学のため、スウェーデンのイェーテボリに滞在しました。英語とスウェーデン語両方を伸ばすことができ、ゼミで学んでいる社会学の勉強もできるのではないかと考えたため、私はイェーテボリ大学への交換留学を選択しました。

授業は英語だったため、スウェーデン語を使う機会を作ろうと考え、成人向けの学校でのボランティアやアルバイト、ランゲージカフェに通うなど、積極的にでかけるよう心がけました。確かに日常生活は英語だけでもほとんど通用する国ですが、スウェーデン語を話せるからこそ得られた交友関係や機会は多くありましたし、時には現地の人の本音を引き出すことができたと感じています。また、幅広い人と交流することができ、スウェーデンをいろいろな角度から捉え、学び、体感することができました。例えば、他のEUからの留学生、難民としてやってきた人たち、日本に留学したことのあるスウェーデン人…それぞれが各国と比較するスウェーデンは、私の視点と全く異なっていて、とても興味深いものでした。

11か月という期間はあっという間でしたが、滞在中の時間はゆったりとしていて、スウェーデンを満喫することができました。独特の時間の流れや、暗く長い冬を経た後の太陽と緑のまぶしさを、ぜひ体験してみてください。

ドイツ語専攻

ドイツ語を本格的に学びたい人、ドイツ語圏の歴史や文化を学ぶことをとおして現代ヨーロッパ社会への理解を深めたいと思う人、ドイツ語圏の国々で生活したり働きたいと思う人を歓迎します。



ドイツ語は、ドイツだけでなく、スイス、オーストリア、リヒテンシュタインなどの中部ヨーロッパの国々に住む1億人ほどの人々が母語として用いている言語です。その他にもチェコ、ハンガリー、ポーランド、ロシアなど東欧諸国においては、英語に劣らず重要視されています。数あるヨーロッパ諸言語の中でも、ヨーロッパの文化や学問の形成に深く関わってきた言語であるといえます。また現在、ドイツはEU（ヨーロッパ連合）の有力な一員であり、経済やエコロジーの分野で世界的レベルの重要な役割を果たしています。ドイツ語の学習を通してこのようなすぐれた文化や社会に触れることができます。

ドイツ語専攻では、日本人8名、ドイツ人1名の教員を擁し、その他にも10数名の日本人、ドイツ人、スイス人の講師がさまざまな授業を担当しています。ドイツ語専攻に入学すると、まず前期課程の2年間は文法・作文・購読・会話・LLなどの科目によって、ドイツ語とドイツ語圏の文化に関する基礎知識を学びます。ドイツ語の言語的知識とコミュニケーション能力を鍛錬する科目と並んで、講義や購読において、ドイツ語圏の社会・文化・言語などに関する知識を深め、3、4年生におけるドイツ語圏文化研究のための土台を築くことになります。

3、4年生（後期課程）では言語、文学、文化、思想、歴史などといった多彩な分野の演習科目が用意されており、自分が関心を持つ学問分野をベースキャンプとして選択し、そこで専門的知識を深め、学生生活の総決算である卒業論文を作成します。またこれと並行して関連する研究科目および会話や作文などのドイツ語運用能力を高める科目も必修科目となっています。このように整備されたプログラムと高い専門性を備えたドイツ語専攻を卒業した後は、ドイツ語のスペシャリストあるいはドイツ語圏の国々で活躍できるエキスパートとしての将来が皆さんを待ちうけています。

「グーテン・タ－ク」

Guten Tag!

学生の声　4年　岡﨑　陽祐

皆さん、こんにちは。ドイツと聞いて何を思い浮かべますか？

ソーセージやビールなどの食文化、バッハやベートーベンで知られるクラシック音楽、ベンツやBMWなどの自動車メーカーなど、日本でも有名な文化や製品が多くあります。

しかし、それはほんの一部であり、学べば学ぶほど、ドイツの長い伝統や歴史、また日本との繋がりを感じることができます。

当専攻では、1、2年次にドイツ語、基礎演習、文化特講などの授業を通じてドイツについて学ぶ上で基本となる知識とスキルを身につけます。見慣れない、聞き慣れない言葉に戸惑うこともありますが、ドイツ語特有の力強い発音をマスターでき、コミュニケーションを交わすことが楽しくなってきます。

その上で3、4年次には、文学、歴史、哲学、言語学、演劇など、様々な種類の講義を選択し、学ぶことができます。もちろん自分の好きなことばかりを勉強できるわけではありませんが、教授のサポート、大学の図書館やメディアセンター、もしくは留学制度を活用し、自分の好きなことはどこまでも追求できる環境があります。

私自身、留学制度を活用し、国を越えて大切に想えるたくさんの友人と出会うことができました。他言語を学ぶと、自然と世界に対する視野が広がっていきます。この学部にはそのように刺激してくれる海外志向の友人がたくさんいます。みなさんが世界を広げるきっかけに、ぜひドイツ語を選んでみてください。

留学体験記　4年　山川　悠稀

ドイツ・アウクスブルク大学への留学。文化・芸術史学科の音楽史ゼミに参加する他、語学コースを受講していました。ゼミでは、教授の問いに積極的に手を挙げて返答し、疑問があれば納得いくまで質問するドイツ人生徒の姿勢に刺激を受けると共に、語学力の未熟さ、研究テーマにおける知識不足のため、なかなか発言できない自分をもどかしく思いました。大学の図書館は24時まで開館しており、夜遅くまでレポートを作成している学生に負けるまいと、私も読み慣れない数多くのドイツ語文献を夜遅くまで読み返しました。悔しさをばねに努力を重ね、教授に自分の学習を高く評価して頂けた時は大きな喜びを感じました。留学中は勉学に力を入れるだけでなく、コンサートやサッカーの試合、クリスマスマーケットやオクトーバーフェストに足を運んだり、南ドイツの山に登ったりと、現地だからこそできることを堪能しました。よく学び、よく遊ぶと共に、よく悩んだ11ヵ月間。異文化における生活で、自分には一体何ができるのか、と問いかけ、諦めかけた時も目標に向かって突き進む中で、自己成長を遂げることができました。日本で学習している時にはあまり好きになれなかったドイツ語の発音も愛着のわくものに変わった留学生活において、日本の机上の学習では吸収できない多くのことを学び、ひとりの日本人として、文化の異なる多くの友達を作ることができたことは、とても貴重な思い出です。

英語専攻

実社会・世界で活躍できる高度な実践的英語運用能力を涵養するとともに、英米の言語、文学、文化、歴史、政経、国際ビジネスの各分野において専門的知識を身につけ、自らの主張を明確に発信しようとする学生を求めています。

グローバル化が進む現在、英語は、あらゆる領域においてインタラクティヴに最新の情報を交換するコミュニケーションに不可欠な世界言語として、極めて重要な役割を果たしています。

英語専攻は、グローバルに活躍できる高度な実践的英語力と専門知識、そして自らの主張を明確に発信できるコミュニケーション能力を備えた人材を育成することを目標にしています。この目標に向かって、1、2年次に、徹底した語学実習により高い英語運用能力を養い、3年次進級要件となる基準レベル（TOEIC 730点、英検　準1級等）を上回る英語力を涵養するとともに、言語学的に見た英語の姿、英語圏の文学・文化についても幅広い知識を身につけます。進級後の3、4年次では、ネイティブ教員によるDiscussionの上級クラス、Essay Writing、同時通訳を含む多様な専攻語科目により、さらなる英語運用能力の強化を図ります。

また3年次から専門的研究授業を受講するとともに、文学・文化系、言語系、歴史・政経系の中からゼミを選択。卒業までの2年間、ゼミで、専門書購読、調査・研究、プレゼンテーション、討論により専攻領域への理解を深め、英語による卒業論文の執筆が研究の集大成となります。

外国語学部英語専攻の最大の特徴は、プラクティカルとアカデミックの両面で卓越した英語運用能力があってはじめて成立する国際水準の最先端の学問を追究するという点です。そのためにも、皮相的な英語力ではなく、将来を切り開くうえで大きな糧となる思考能力、教養ある国際人が持つ高度なコミュニケーション能力の習得が期待されます。

前身の大阪外大の徹底した少人数教育によって鍛え上げられた英語専攻の卒業生は、商社、製造、金融、流通、運輸、マスコミ、観光、通訳・翻訳、官公庁、教育など、多方面で活躍しています。大学院に進学し、研究者として活躍している人材も少なくありません。優秀な卒業生を輩出してきた外大の伝統を受け継ぎ、いっそうの飛躍を遂げる英語専攻は、皆さんの入学を心よりお待ちしています。

Good Morning / Afternoon / Evening. Hello / Hi!

学生の声　4年　池本 万里奈

私は数年間のアメリカ在住によって感覚的に学んだ英語を、しっかりとした知識に裏付けされたものにしたいと考えて英語専攻に入学しました。

入学後に出会った仲間は、様々な面でとても刺激的でした。ひたすら英語が好きだと素敵な笑顔で語る人、英文法辞典かのように言語学の知識が溢れ出てくる人、長年の海外経験を持ちプレゼンやコミュニケーションに非常に長けている人…など。今の自分では到底敵わないと感じる特質を持つ人々にたくさん出会いました。

そうした環境の中で、言語や文化に関する授業を幅広く自由に組み合わせて履修できることはとても魅力的でした。興味を抱いた分野を掘り下げることも、複数の言語を履修して比較することもできます。努力次第でどのようにも学べるカリキュラムのおかげで、毎回の履修登録時にはとりたい授業の調整をつけるのが大変なほどです。私は卒業までに十カ国語を履修することを目標にしています。多様な言語を学ぶことによる発見や成長は常にあり、これだけ豊富な言語を学べるこの環境にとても感謝しています。

3年次から配属されるゼミでは、院生の先輩方も交えた授業であるため、非常にハイレベルな内容を学べます。その中で日々研鑽することで自分の成長を感じられるのは大きな喜びです。

入学前と比較して、世界に対する興味や理解は多角的な方面から深まったと感じています。英語専攻には自分の成長を実現できる環境があることをお約束します。

留学体験記　4年　松宮　正義

私はアメリカ・カリフォルニア大学に10か月間交換留学しました。学業では、毎週100 ～ 200ページ超のReadingを課されるのはもちろん、Essayなどの課題も容赦なく襲ってきます。かなりの覚悟が必要ですが、留学生活の終盤には、読み書きのスピードが上がった、Essayの評価が良くなった等、自分自身の成長を感じることができました。特にEssay Writingの授業では、現地学生の平均よりもワンランク上の評価を得たことは自信になりました。

生活面では、常に快晴のカリフォルニアで、とても有意義な体験ができました。食事をしたり、テニスをしたり、夜遅くまで寮で騒いだり、町を案内してもらったりと、現地の学生たちと過ごした日々は良い思い出です。今まで住んでいた環境と異なる場所で1年弱生活するわけですから、大変な事も沢山あります。言葉、食事、生活スタイル等、苦労は人それぞれです。私も最初は慣れるのにかなり苦労しました。しかし、先に述べた現地学生との交流の中で、留学は本当にいろいろなことを教えてくれました。日本とアメリカの違い、アメリカ人の快活で気さくな気質、また離れてこそわかる日本の良さ、親のありがたみなど、それは言葉では言い尽くせない、体験してこそ感じられることですし、今後の人生においても、私が得た貴重な財産になると信じて疑いません。

皆さんも、留学という普通の学生生活ではなかなかできない体験を通じて、自分自身の糧、刺激、財産を積み上げていってください！

フランス語専攻

フランス語専攻では、フランス語やフランス語圏の文化（文学、思想、歴史、政治、経済、芸術など）に関心があり、その正しい知識と理解を深めたいと思っている人を求めています。

フランス語は、中世の時代より現在に至るまで、芸術や思想を生み出す支えの言語として、ヨーロッパ文明において重要な役割を担ってきました。フランス文学は中世の「ロランの歌」などに代表される叙事詩や吟遊詩人達による叙情詩から、スタンダール、フローベール、ユーゴー、プルーストなどの近代、現代の小説に至るまで、世界でも他に類を見ない多様で豊かな創造的世界を生み出してきました。哲学者のデカルトやパスカル、ルソー、サルトルといった名前も皆さんにはおなじみのことと思います。フランス語を使って生み出された文学作品や哲学書は膨大な数にのぼります。

またフランス語は、フランス本国以外にも、ベルギー、スイス、カナダといった欧米諸国、あるいはカメルーン、コートジボアール、コンゴなど、かつてフランス領やベルギー領であったアフリカ諸国の一部でも公用語のひとつとして使われており、およそ1億の人たちがフランス語を話していると言われています。そして国連をはじめ、EUやユネスコなどの国際機関においても公用語のひとつとなっています。あまりに英語偏重の今の日本ですが、世界中を飛び交う情報の中で、英語で流される情報はその一部でしかありません。複数の外国語を学んでおくことは、視野を拡げ、他者をよりよく理解し、今のこの世界における様々な事柄に関してより的確な判断を下すためにも、これからの私達にはぜひとも必要な作業なのではないでしょうか。

私達はフランス語とフランス語が培ってきた芸術や文化の魅力とその有用性を伝えるべく、中世の時代から現代に至る文学、歴史、文化、言語学などできる限り多種多様な分野の授業を用意して、皆さん方の期待に応えたいと考えています。

サン・セルナン教会堂（トゥールーズ）

「ボンジュール」
BONJOUR!

学生の声　4年　三谷　晶子

受験生のみなさん、こんにちは！みなさんは、フランスが好きですか？フランスの、どこが好きですか？フランス語専攻には、言語に興味のある人、文化に興味のある人、国際協力に興味のある人など、様々な人が集まります。フランス語は、発音も文法も英語より複雑で、そのぶん言語に興味がある人にはとても学びがいのある面白い言語です！またフランス語専攻では料理、ファッションなどの文化も、自分の興味に合わせて学ぶことができます。「フランスのお菓子」なんていうのも、勉強の対象になっちゃうんですよ！そして、フランスやフランス語圏の社会についても学ぶことができるので、世界に貢献したい人にはぴったりの専攻語です。私はというと、受験生の頃言語に興味があり、知らない言語に挑戦したいと思っていました。そんな中で、単なる憧れからこの専攻を選びました。みなさんの中にもきっと、「なんとなくフランスは憧れるけど、何を学びたいか分からない」という人がいると思います。でも、その「なんとなく好き」を大切にしてください。フランス語専攻では、フランスに関わることなら何でも、広く学ぶことができます。学んでいく中で、興味を見つけていきましょう。最後に、人と話すのが好きな人には本当にぴったりです！ここには、本当に個性的な人がたくさんいますし、フランス語を習得すれば話せる相手が2億人も増えますよ。みなさんに来てもらえるのを楽しみにしています！

留学体験記　4年　谷上　陽大

僕はフランス南西部の都市トゥールーズに10ヵ月間交換留学生として留学しました。

フランスの魅力は何と言ってもバカンスです。2か月に1回は1週間ぐらいの休みがあり、フランス人はみんなしっかり休んでいて日本とは違うなと思いました。もちろん休暇中は大学も休みなので、その期間を利用して様々な地域に行ってその文化を肌で感じることができたと思います。

留学で特に印象に残っているのは、1000年以上の歴史のあるキリスト教の巡礼路（日本でいうお遍路）を1人で歩いたことです。これはフランスからスペインの西端サンティアゴ・デ・コンポステーラという町まで約800キロ続いている道なのですが、交通機関を全く使わずに徒歩だけでその800キロを旅しました。自分以外にもたくさんほかに巡礼者がこの道を歩いていました。国籍や年齢などあらゆるものが異なる人が、それぞれの想いを持って歩いているけど目指している目的地は同じという、とても不思議で素敵な旅でした。巡礼者同士の会話はもちろん日本語ではありませんでしたが、たくさんの方と出会い、今までの人生で最高の思い出です。

留学中には行く前の想像をはるかに超えた大変なことが何度も起こり、心が折れそうになったこともありました。それでも日本でふつうに生活していては絶対に経験できないことだったと思うので、本当に留学をしてよかったと今では思います。

イタリア語専攻

多様性と伝統を大切にするイタリアとイタリア語に関心を持ち、「陽気で明るい」などといった表面的なイメージに惑わされない分析力と論理性を有し、イタリア語の正確な読解力と本格的なコミュニケーション能力を駆使して、社会への貢献を目指す人。

イタリア人で知っている名前を挙げてみてと言われたら、みなさん、どう答えるでしょうか。サッカー選手のトッティ、映画俳優／監督のロベルト・ベニーニ、靴のサルヴァトーレ・フェラガモなどの名前が挙がるでしょうか。ちょっと詳しい人なら、ダンテやラファエロ、ガリバルディ、マリア・カラス、あるいはベルルスコーニといった名前も挙がるかもしれませんね。

イタリアは、芸術、文学、音楽、ファッション、サッカー、映画など、様々な分野で個性的な才能を輩出してきた地域です。イタリア語を学ぶということは、このような多様な文化領域にアプローチするうえで非常に有効です。例えば、ミケランジェロの彫刻に興味があるという場合、ミケランジェロが書き残した手紙などを自分で読むことができたら、作品を理解するうえで大きな手がかりとなりますよね。また、劇や映画に関心があるという場合、台本・脚本を自分で読んで、役者の台詞の話し方やそのニュアンスまで理解することができれば、作品を見るうえで大いに役立つでしょう。

ただ、どんな言語にもいえることですが、一つの外国語を修得することは決して容易な話ではありません。イタリア語の場合、発音は非常に分かりやすいのですが、文法には少々厄介なところがあります。例えばイタリア語の名詞には、必ず男女の性別があります、treno（列車）は男性名詞、piazza（広場）は女性名詞といった具合に。面白いでしょ？

1・2年次には、そのような点を含めてイタリア語の基礎をしっかり身に付けることになります。3・4年次には、習得したイタリア語を駆使して、様々な専門分野の授業に参加することになります。大学の授業は決して簡単ではありませんが、幸いなことに、語学の習得は、努力すれば必ずそれだけの報いがあります。みなさんと一緒に学ぶのを、私たちも楽しみにしています。

中部イタリア、世界遺産の街ピエンツァ

「ブォンジョルノ」

Buongiorno

学生の声　4年　藤元　千尋

Ciao! (チャオ！)これは、イタリア人が普段のあいさつでよく使う言葉です。イタリアにはテレビ番組に紹介されるような素敵な景色、人々、美味しい食事があります。イタリア語専攻で学ぶことで、そのイタリアの、更に奥の、もう一歩踏み込んだところまで知ることができます。

イタリア語専攻では、最初の2年間は文法や会話を重点的に学習し、3・4年次では文化や歴史の面も踏まえたより専門的な授業を受けることができます。イタリア語は複雑で難しいというイメージがあるかもしれませんが、発音は日本語と同じで母音で終わるのでとても明快で、単語も英語と似ているものが多いので、基本の文法を乗り越えてしまえば心配はいりません。イタリア人の先生も多く、授業は先生それぞれの個性が出ていて楽しいです。また、今年から映画上映会など、新しい企画も始まりました。

私はイタリアで人生初めての一人暮らしを経験しました。右も左も分からない状態で始めた生活では嬉しいこと辛いことどちらもありましたが、とても濃い時間を過ごしました。私は春からデザインの勉強を始め、将来イタリアに長期留学する予定です。イタリア語専攻で、イタリアで、多くの人と知り合ったおかげで今の自分があると思っています。イタリア語専攻では、多くの生徒がイタリア留学をして、将来を切り開いていっています。外国語学部イタリア語専攻で、自分だけのイタリアと、そして新しい自分を見つけてみましょう。

留学体験記　4年　森木　春香

私は3年生を終えた春から1年間、大学を休学して、イタリアに約10か月間留学してきました。大学入学当初から留学に行きたいと考えていましたが、実際に準備をし始めたのは留学の半年前ぐらいからでした。外国語学部という特性上、私と同じように1年間休学して留学に行く人たちが周りにたくさんいたので、友達や先輩に相談もできましたし、留学から帰ってきても周りに友達がたくさんいるのはすごく恵まれた環境だなと思います。留学中は、平日は毎日学校に通ってイタリア語やイタリア文化の授業を受け、休日は小旅行に出かけたりしていました。イタリアは、どんな小さな街にも特有の歴史・街並み・料理があって、いつも新しい発見があり、それがとても魅力的です。また少し足を延ばして、ヨーロッパのほかの国に行くこともありました。留学してよかったと思うことは、イタリア語・イタリア文化についての知識や関心が、行く前よりはるかに上がったこと、そしてイタリア人を含めた世界中の人と知り合えたことです。言語を学ぶ喜びのひとつは、違う国の人たちと話せることだと思います。イタリア語を介して、いろんな人と知り合って、そこからまた自分が知らなかったことを吸収できたことは、本当にいい経験でした。みなさんもイタリア語専攻に入られた際には、ぜひ留学にチャレンジして、貴重な体験をしてください。

スペイン語専攻

スペイン語を意欲的に習得し、学んだスペイン語をとおしてスペイン語言語学はもとよりスペインの文学や歴史、その他スペイン語圏の文化一般に関する知識を積極的に身につけ、スペインおよびスペイン語世界について総合的に理解したいと希望する人。

トレド全景

スペイン語は、スペインのみならず、アメリカ合衆国の一部およびメキシコから南米のチリ、アルゼンチンに至るまでの実に広大な空間（ブラジルを除く）で、3億人以上の人々によって話されている言語です。スペイン語の重要性は、国連の公用語の一つとされていることからも明白です。話される地域が広く、話す人の数も多いという事実は、今日の国際社会において、私たち日本人がスペイン語と接する機会がますます多くなることを意味します。スペインおよびスペイン語世界は、様々な意味で大いなる可能性を秘めた魅力溢れる世界であり、「スペイン語はそれを知る人の未来を開く」と言っても過言ではありません。

もちろん、スペイン語を知っているだけでは十分ではありません。スペインおよびスペイン語世界の文化一般に関する知識を総合的に身につけていることが肝要です。しかし、それは並大抵の努力でできるものではありません。あくまでも努力目標であり、それに近づくために、まずは個々の分野の様々な知識を正確かつ着実に身につけていくことから始めなければなりません。スペイン語専攻の授業も、限られたスタッフと時間のなかで、そのために組まれています。皆さんに課せられた使命は、1、2年次において、スペイン語を正確に「読む、書く、聞く、話す」能力を身につけ、それを駆使しさらに磨きつつ、3、4年次において、スペイン語学やスペイン文学、スペイン史、イスパノアメリカ文学などの専門的な多くの知識を学び、それを土台に各人が自己の価値観をとおして独自のスペイン観もしくはスペイン語世界観を構築することです。

スペインおよびスペイン語世界を総合的に理解するには、少し控えめに言って、その文化一般を知るには、スペイン語の習得が不可欠であり、逆に、文化を知らなければ真の意味でのスペイン語の習得もあり得ないということを肝に銘じて下さい。そして、スペイン語世界のことなら何でも知ってやろうという貪欲な気持ちで、4年間の勉学に励んでもらいたいと思います。皆さんには、可能性と魅力溢れるスペイン語世界が開かれています。

アルハンブラ宮殿ライオンの中庭（グラナダ）

聖家族教会（バルセロナ）

「ブエノス ディアス」
Buenos días
（午前中から昼食までの挨拶）

「ブエナス タルデス」
Buenas tardes
（昼食後から暮時までの挨拶）

学生の声

4年　川崎　瑠理

スペインと聞いて、思い浮かぶものは何でしょう。フラメンコ、サッカー、パエリヤ…。では、ペルーと聞いたら？メキシコと聞いたら？スペイン語圏には一般的に知られているよりも奥深い文化を持つ魅力的な国がたくさんあります。この専攻は、そんなスペイン語圏の国々を丸ごと味わうことができる場所です。

1、2回生では、スペイン語の基礎をみっちり学びます。バラエティに富んだ先生方とレベルの高い同級生に囲まれて、質のよい勉強ができます。しかし、言語の習得は序の口にすぎません。3、4回生ではゼミに所属し、歴史、文学、言語など自分の選んだ分野について研究を進めていきます。スペイン語専攻では分野だけでなく研究する国も自分で選ぶことができるので、その選択肢の多さは魅力の1つだと思います。

文化も背景も全く異なる異国についての研究は驚きと発見に満ちているとともに、自分の生きてきた国、文化について見直す機会にもなります。自分の知っている世界が広がるのと同時に自分という人間の輪郭が固まっていく過程はとても刺激的で、それはこの学部で学ぶ醍醐味だと思います。

きっかけは何でも構いません。私は、スペインは食べ物がおいしそうだという理由でスペイン語専攻を選びましたが、今ではゼミで文学を研究しており、食べ物だけではないスペインの魅力に夢中です。皆さんもこの専攻で、知れば知るほど好きになるスペイン語圏の魅力にどっぷりつかってみませんか。

留学体験記

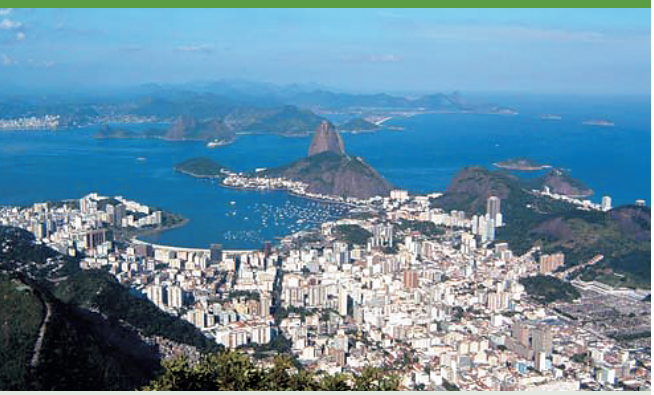
4年　七條　憲正

私は約10ヶ月、スペインのコルドバという都市へ行き、コルドバ大学の外国人向け語学コースでスペイン語の文法やスペイン文化、歴史の授業を受けていました。留学の目的は語学力の向上ですが、学びの場は学校だけではありませんでした。学校での授業は大阪大学で学んだことの復習と捉え、放課後や休みの日に色々なことに挑戦するよう心がけていました。スペイン語圏出身者のシェアハウス（ピソ）に加わったり、現地のバレーボールサークルやサッカーチームに参加したり、フラメンコ教室に出てみたりしました。ここで知り合った友達とはよくバルでタパスをつまみながら話したり、現地のお祭りに連れて行ってもらったりして地元の文化について学ぶことができました。また、クリスマスや大晦日、誕生日などのイベントの際にはスペイン人の友達の実家にお邪魔して現地の生活や伝統を肌で感じることもできました。留学生活を通してスペイン人はもちろん、様々な国籍の人と知り合うことができ、互いの国の文化の違いやこれまでの経験など様々な情報を交換する日々だったので、毎日が新鮮でした。また、彼らとのコミュニケーションは全てスペイン語だったのでリスニングとスピーキングの良い練習になりました。

授業を通して学ぶこともちろん大事ですが、現地の人と仲良くなり授業以外の時間に交流し、様々な考えや価値観に触れられるのが留学の醍醐味だと思います。

ポルトガル語専攻

ポルトガル語の高度な運用能力を身につけたいという熱意のある人。ポルトガルやブラジルの言語や文学、文化や歴史に強い関心をもち、外国語を駆使してそれらを探求しようという意欲のある人。



ブラジルのリオデジャネイロ市の景観　中央の岩山が「パン・デ・アスカル」

ポルトガルはユーラシア大陸の最西端に位置し、12世紀にイスラム教徒からの「国土回復運動」の過程で独立国としての第一歩を踏み出しました。その後、ポルトガルが「大航海時代」の先駆者として、アフリカ、アジア、アメリカ大陸へと進出した歴史はよく知られています。その結果、ポルトガル語は現在、ポルトガルだけにとどまらず、南アメリカのブラジル、あるいはアフリカの旧ポルトガル植民地5カ国（アンゴラ、モザンビーク、ギネー・ビサウ、カーボ・ヴェルデ、サン・トメー・エ・プリンシペ）、また21世紀になって独立した東チモールなどでも使われており、その話者は2億人を超えています。

本学でポルトガル語を専攻する学生は、1・2年次には、外国人教師による会話の授業を含め、ポルトガル語を総合的に学習し基礎力を身につけます。その後、ポルトガル語圏の言語や文学、文化を勉強することになります。ポルトガルやブラジルというと、サッカーや音楽、格闘技などを思い浮かべる人が多いのですが、それらにとどまらず、各地域の歴史や文学、文化に幅広い関心をもってほしいと思います。また、各自が選択したテーマにしたがい自ら研究を深め、卒業論文を執筆するのも3・4年次の重要な活動になります。

多彩な地域で、数多くの人々によって話されるポルトガル語を勉強することは、視野を広げ、世界の多様な文化を理解し、いろいろな国の人々とコミュニケーションを行ううえで、大きな力になります。皆さんもそのようなポルトガル語を身につけて海外へと大きく飛躍してくれることを期待しています。

「大航海時代」の栄華をいまに伝える
リスボンのジェロニモス修道院（16世紀）

「オラー,トゥード・ベン」
Olá, tudo bem?
〈ポルトガル〉

「オイ,トゥード・ベン」
Oi, tudo bem?
〈ブラジル〉

学生の声

3年　村田　千晶

Bom dia! みなさんはポルトガルと聞くと、どのようなものを想起しますか？ポルトガルはイベリア半島の大西洋側に位置する小さな国ですが、そんなポルトガルには、きれいな海、荘厳な城、心惹かれる美術、魚介類をふんだんに使った料理、おいしいワイン、熱狂的なサッカーなど魅力的なものがいっぱいです。

ポルトガル語は、2014年にワールドカップ、そして2016年にオリンピックが開催されるブラジルや、アフリカのモザンビークやアンゴラ、中国のマカオでも話されています。鼻にかかったような、独特の響きが音楽的でとても優美な言語です。私の周りには、ポルトガルを含めたこれらの国々への留学を目指し、頑張っている学生がたくさんいます。

当専攻においては、授業を通してポルトガル語の文法や会話はもちろん、ポルトガル語圏の歴史や文化も深く知ることができます。また、授業以外にも活用できる場が様々にあります。去年の秋に２回生を中心に、大学主催の語劇祭に参加し、ポルトガル語劇を上演しました。ブラジルの児童文学作品を舞台化したのですが、役者、スタッフ共々、力を合わせ、素敵なお芝居に仕上がりました。他にも、大阪大学で学んでいるブラジル人留学生との交流会もあり、良い刺激を受けました。

ここだけでは、全て伝えきれませんが、学んでいくうちにきっと分かってくると思います。ポルトガル語がいかに魅力的であるかということを。

留学体験記

4年　井上　佳子

留学と言えば、一年休学して５年で卒業というのがよくある例なのですが、「留学もしたいけど４年で卒業したい」というわがままな目標を実現するために、私はサンパウロ大学での半年間の交換留学を選択しました。ポルトガル語専攻史上初の試みということでしたが、なんとかたどり着いた南米最大の国ブラジル！！半年という短い期間でも、ポルトガル語をマスターしてやろう！と熱く誓った留学生活がスタートしました。

ブラジルの最大の魅力は、その人々にあると思います。「人類皆友達」という言葉がぴったり合うかのように、初めて会った人とも笑顔、親しく話す、助け合う。シェアハウスに住むことや、現地の人々と同じ授業に参加できるという交換留学の長所を活用し、多様な地域出身のブラジル人や外国人留学生など多くの友人に恵まれることができました。困った時には親身になって助けてくれたり、ビーチや実家に誘ってくれたおかげで、私の留学生活は刺激と楽しみに満ちた輝かしいものになりました。異国の地で、ポルトガル語を使って様々なところに行き、様々な人と話して学んだことは大変貴重な経験で、私を大きく成長させることができたと思います。

留学しても４年で卒業することはできます。ですので、後輩の皆さんには自分の可能性を狭めずに、挑戦したいと思ったことに果敢に取り組んでいって欲しいと思います。そのチャレンジの場として、私はブラジルを強くおすすめします。

日本語専攻

日本語専攻では、外国語を身につけ、外国の事情を知った上で日本語・日本文化を客観的に捉えることに興味のある人、日本語教育に深い関心のある人、外国語を基礎にグローバルな観点から日本を世界に発信する意欲のある人を求めています。

日本語を母語として日常的に使っているのに、「外国語学部で日本語を学ぶとはどういうことなのか？」この感覚は分かりにくいかもしれませんね。

しかし、普段何気なく使っている日本語の中にもよく考えてみると不思議なナゾがたくさんあります。例えば外国人から「バス停に止まる」と「バス停で止まる」の違いを教えてと頼まれたら、どう答えたらよいでしょうか？そう、今や日本語に関わっているのは日本人だけではありません。国内・海外で日本語を「外国語」や「第二言語」として学ぶ人がたくさんいるのです。

話者としての自分が世界の中でどんな位置にあるかを考えて世界を認識する、世界の視点から日本語・日本文化を見つめ直す。これに応えられる人材の育成を目指しています。

日本語専攻では、日本語学・日本語教育学・日本文化学・言語学の領域にわたって、日本語を外国語のように観察し客観的に見る目を養います。特に日本語教育に関しては、教育実習の目的を兼ねた海外派遣や交換留学の機会も設けています。そのためにも、日本語専攻の学生はそれぞれ、20を超える言語の内一つを専攻言語として学ぶことになっています（*）。外国語をマスターした上で日本語を深く探求できるのは、外国語学部の日本語専攻だからこそできる最大のメリットです。

外国語を身につけて日本を世界に向けて発信したい・日本と世界との交流を通じて社会に貢献したい・外国語の言語能力を生かして日本語教育の場で活躍したい等々、グローバルな視点に立って日本語と関わり合いたいと願う皆さんに適した専攻です。

さあ、いかがですか。日本語専攻のイメージがはっきりしてきたでしょう。私たちの専攻に来ませんか。絶対にソンはさせません。

（*）専攻言語について

日本人学生については下記の24専攻言語の中から1つ。なお、外国人留学生については日本語。

＜専攻言語＞

中国語、朝鮮語、モンゴル語、インドネシア語、
フィリピン語、タイ語、ベトナム語、ビルマ語、
ヒンディー語、ウルドゥー語、アラビア語、
ペルシア語、トルコ語、スワヒリ語、ロシア語、
ハンガリー語、デンマーク語、スウェーデン語、
ドイツ語、英語、フランス語、イタリア語、
スペイン語、ポルトガル語

学生の声

4年　木寺　由美

「外国語学部なのに日本語？」そうです、わたしたちは外国語なのに日本語専攻なんです。「何をしているの？」きっと疑問に思われるでしょう。日本語専攻とは？

日本語専攻の学びは身近なことばから始まります。「黒板を消す。」に突っ込んでみたり、「猫がねずみを食べた。」と「ねずみが猫に食べられた。」の違いを考えたり。普段使っている日本語も学問として学んでみるとわからないことがたくさんあります。また、日本語専攻の学生は専攻語としてもうひとつ言語（外国語）を学ぶので、自分の専攻語と日本語を比べてわかることもあるのです！同級生も様々な言語を学んでいるので、「○○語では～」と自然と議論は白熱します。

留学に行く人が多いのも日本語専攻の特徴です。留学といっても、外国語を学びに行く語学留学ではなくて、日本語専攻の留学は日本語教師として海外に日本語を教えに行く留学。海外に行く機会も充実しているので、あなたもチャンスを掴めるかもしれませんよ。

留学生との交流も盛んな日本語専攻。同級生には10人の留学生がいますし、他にも交換留学生がいたりと、日常が国際交流。授業では半分以上が留学生なんてことも！日本人では考え付かないようなアイデアに驚かされることもしばしばです。

どうでしょう？日本語専攻の魅力、伝わったでしょうか？日本語専攻の学生はとってもユニークで、先生方も個性あふれる方ばかり。明るくパワフルな日本語専攻に来ませんか？

留学体験記

4年　橋本　千紘

皆さんの中には「日本語専攻と留学は無縁」と思う方もいるかもしれません。しかし実際は、毎年多くの学生が留学へ行き、日本語教育や専攻語について学んでいます。

私自身も中国の大連に留学し、専攻語の中国語を学びつつ、大学の先生にお願いして日本語の授業の見学やお手伝いをさせていただいていました。私が主に参加したのは大学２年生の会話のクラスで、教室に入った時の「橋本さーん！」「こんにちはー！」という大きな声は、今でも耳に残っています。授業が始まると、皆流暢に日本語を話し、熱心に勉強をし、私にも好奇心いっぱいに話しかけてくれたので、私は日本語専攻として、そして日本の一大学生として、彼らの姿に大変刺激を受けました。

中国語の授業では、様々な国の留学生と毎日話し、笑い、かけがえのない時間を過ごしました。勿論、初めは上手く会話ができず「買い物に行くけど、何かいる？」という一言が聞き取れなくて、勝手について行き驚かれたこともあります。しかし、語学が上達すると自然と仲も深まりました。彼らは今でも大切な友人です。

留学に行くと、沢山の出会いがあり、視野が広がり、「世界」が近くなります。語学が何に繋がり、どんな広がりがあるのか、それを実感することもできます。

幸いにも、大学には沢山の留学の機会と十分な環境が整っており、日本語専攻は自分の専攻語以外の国に日本語を教えに行くことも可能です。皆さんもこの機会を逃さずに、是非留学に挑戦してみて下さい！

アドミッション・ポリシー

外国語学部では、自国と外国の言語・文化・社会に強い関心を持つ、
次のような学生を受け入れます。

- さまざまな文化背景を持つ人々とコミュニケーションをとることができる能力を身につけたい人
- 世界の言語・文化・社会に関する専門的な知識を身につけたい人
- 外国語を十二分に駆使して、外国の文化や社会の研究をしたい人
- 外国の言語や文化・社会に対する理解を通じて、自国の言語や文化・社会を探求したい人
- 異文化間の対話と相互理解を深める架け橋となりたい人
- 世界的規模の諸問題を解決するために、国際的な協力を推進したい人

外国語学部

言語を通して文化を学び、文化を通して言語を学ぶ

世界25言語の専攻

外国語学部外国語学科は、25に及ぶ世界の諸言語の専攻語教育課程を設け、世界の言語と言語を基底とする地域文化の教育研究の集積拠点として、幅広く、そして深く世界・文化・地域を学ぶことができます。

入学定員

外国語学部	580名
3年次編入学	10名

授与学位　学士（言語・文化）

学部	学科	専攻
外国語学部	外国語学科	中国語専攻 朝鮮語専攻 モンゴル語専攻 インドネシア語専攻 フィリピン語専攻 タイ語専攻 ベトナム語専攻 ビルマ語専攻 ヒンディー語専攻 ウルドゥー語専攻 アラビア語専攻 ペルシア語専攻 トルコ語専攻 スワヒリ語専攻 ロシア語専攻 ハンガリー語専攻 デンマーク語専攻 スウェーデン語専攻 ドイツ語専攻 英語専攻 フランス語専攻 イタリア語専攻 スペイン語専攻 ポルトガル語専攻 日本語専攻

外国語学部のカリキュラム

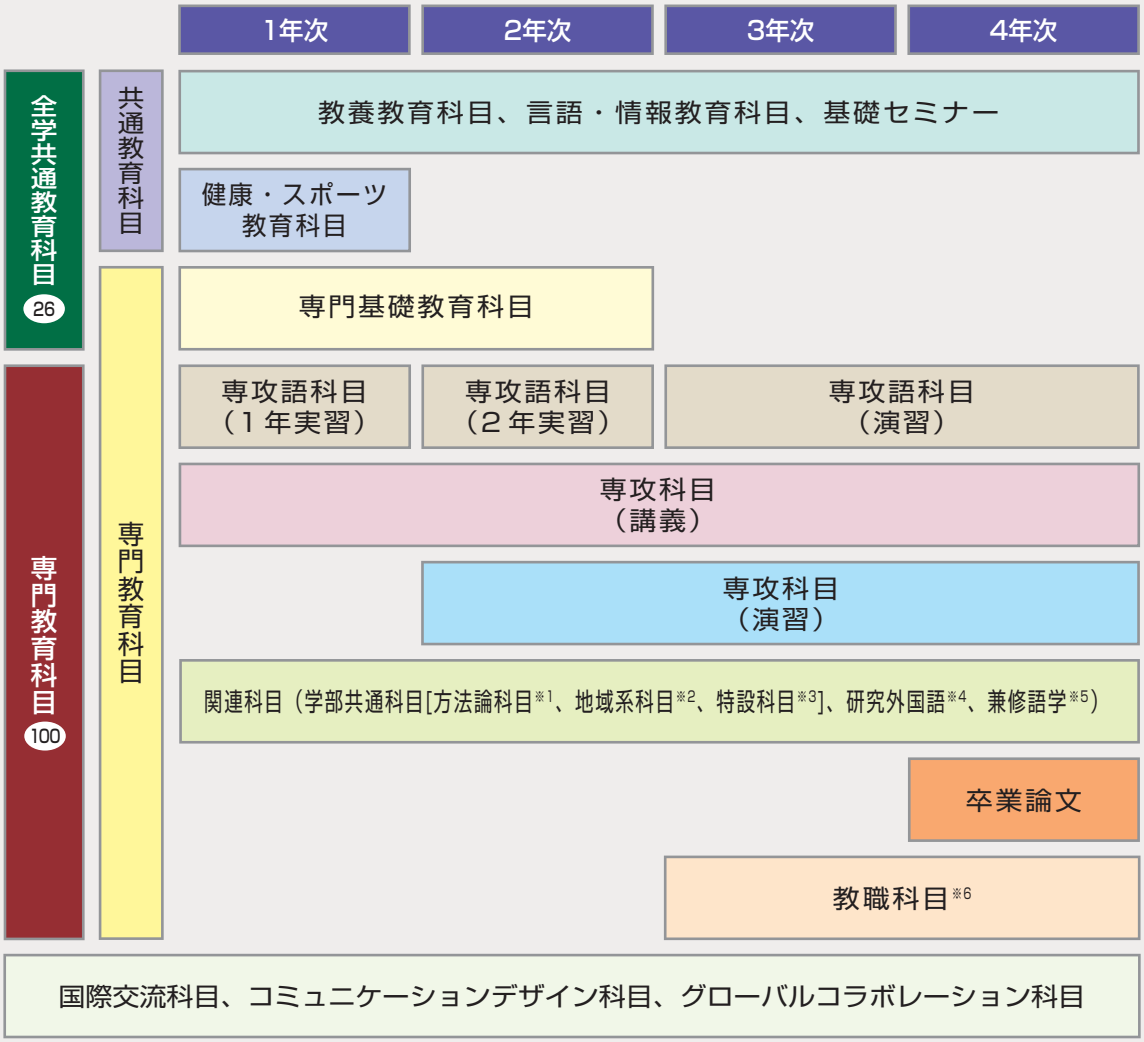
◆カリキュラムの体系は、大きく【全学共通教育科目】と【専門教育科目】に区分されます。

外国語学部では、全学共通教育科目として、「教養教育科目」、「言語・情報教育科目」、「基礎セミナー」、「健康・スポーツ教育科目」、「専門基礎教育科目」を合わせて26単位以上修得することとなっています。

専門教育科目には、「専攻語科目」、「専攻科目」、「関連科目」、「卒業論文」等が配置され、100単位以上を修得することとなっています。専門教育科目の根幹である「専攻語科目」は、1・2年次で履修する実習の科目と3・4年次で履修する演習の科目から構成されます。

なお、1年次に配当される授業は原則として豊中キャンパスで実施され、2年次以降に配当される授業は、箕面キャンパスで実施されます。

◆カリキュラムのあらまし



※1　言語学概論、文化概論、文学概論、芸術史、文化史、国際関係史　等
※2　東アジア言語文化概論、東南アジア社会文化概論、現代アラブ地域概論、アフリカ政治経済講義、北欧現代社会概説、英語国際ビジネスコミュニケーション入門、スペイン文学概論、日本語教育学講義　等
※3　キャリアデザイン論、異文化理解演習
※4　広東語、満洲語、ヘブライ語、西アフリカ諸語、バントゥ諸語、オランダ語、カタルニア語、ガリシア語、バスク語　等
※5　中国語、朝鮮語、アラビア語、スワヒリ語、ドイツ語、英語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語
※6　卒業に必要な単位には算入されません。

就職状況

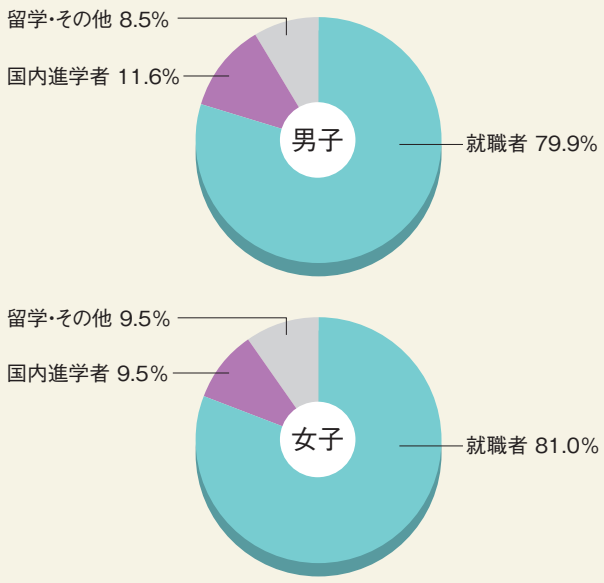
外国語学部を卒業すると

外国語学部の卒業生は、在学時代に培った語学力とそれに基づいた豊富な知識を糧に、社会の様々な分野で活躍しています。大阪外国語大学時代より脈々と受け継がれたOB・OGとの繋がりも卒業生が増すごとに、より強固なものになっています。

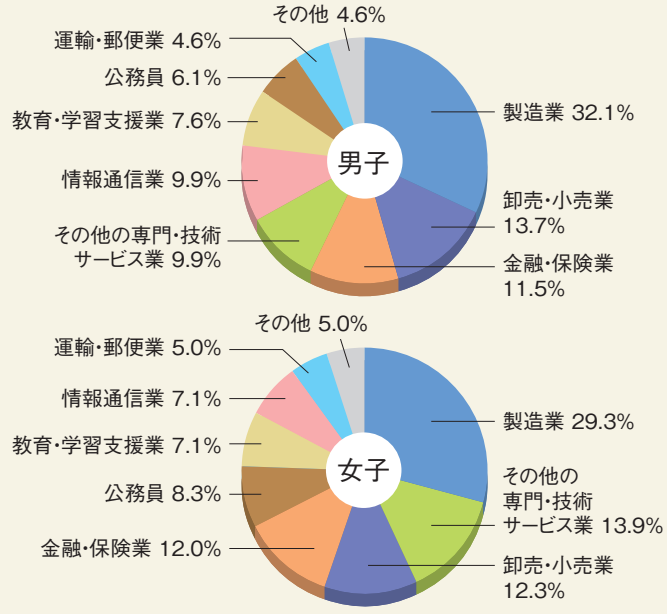
外国語学部卒業生のうち、約80%が就職し、残る約20%が国内の大学院への進学や海外の大学又は大学院へ留学をしています。大阪大学の他の学部と比べても就職希望者の多い学部と言えます。多くの外国語学部生が在学中に経験する短期・長期の留学は、彼／彼女らにとっては社会（世界）へはばたく助走なのかもしれません。

以下のように卒業生の就職先は多業種にわたっています。入学してから自己を見つめなおし、4年間をかけて自分に合った進路を模索していく姿勢を見につけ、理想の就職ができるよう、外国語学部も全力でサポートします。

進路・就職状況（2013年度卒業生）



業種別　就職者数（2013年度卒業生）



外国語学部卒業生の主な就職先
（2013年度卒業生）

製造業
ミズノ㈱
アース製薬㈱
川崎重工業㈱
サントリーホールディングス㈱
㈱シティコム
新日鐵住金㈱
パナソニック㈱
ダイキン工業㈱
富士通㈱
トヨタ自動車㈱
TOTO
㈱豊田自動織機
ヤンマー㈱
JT

卸売・小売業
伊藤忠商事㈱
㈱三省堂
住友商事㈱
双日㈱
三井物産
㈱阪急阪神百貨店
㈱大塚家具
丸紅㈱
㈱ヨドバシカメラ

運輸業
㈱商船三井
全日本空輸㈱
日本郵船㈱
関西国際空港㈱
JR西日本
㈱日立物流

情報通信業
㈱産業経済新聞社
ソフトバンク㈱
グーグル㈱
関西テレビ㈱
㈱読売新聞大阪本社
NHKグローバルメディアサービス
NTT西日本

金融・保険業
㈱池田泉州銀行
㈱ゆうちょ銀行
㈱京都銀行
㈱みずほフィナンシャルグループ
㈱三井住友銀行
㈱三菱東京UFJ銀行
三井住友海上火災保険㈱
三菱UFJモルガン・スタンレー証券㈱
大和証券㈱
大阪厚生信用金庫
日本郵政㈱
SMBC日興証券㈱

サービス業
㈱エイチ・アイ・エス
日本郵便㈱
アクセンチュア㈱
楽天㈱
㈱日本旅行

官公庁・教員 等
外務省
防衛省
国土交通省
警察庁
厚生労働省
大阪府庁
広島県庁
愛知県庁
財務省
大阪市役所
豊中市役所
箕面市役所
兵庫県教員　　等

大阪大学

交換留学制度

大阪大学外国語学部では、諸外国の119大学及び1大学連合との間で短期交換留学を行っています。この制度で留学すると、本学の授業料を納めておいて留学先の大学で学ぶという形になりますので、留学先の大学で授業料などを払う必要はありません。また、留学先の大学で修得した単位は、本学部の卒業に要する単位に算入することができます。（すべてとは限りません）。なお、奨学金（月額5～10万円：平成26年度実績）の支給を受けることができる場合もあります。

大阪大学外国語学部で学ぶことのできる言語

- 日本語
- 中国語
- 朝鮮語
- モンゴル語
- インドネシア語
- フィリピン語
- タイ語
- ベトナム語
- ビルマ語
- ヒンディー語
- ウルドゥー語
- アラビア語
- ペルシア語
- トルコ語
- スワヒリ語
- ロシア語
- ハンガリー語
- デンマーク語
- スウェーデン語
- ドイツ語
- 英語
- フランス語
- イタリア語
- スペイン語
- ポルトガル語

学生交流協定大学

●／大学間　★／部局間　（平成26年7月現在）

★（注）ICI·ECP日本政府と欧州連合（EU）の学生相互派遣プログラム

【ドイツ】
- ●ミュンヘンルートゥヴィヒ・マクシミリアン大学
- ●ミュンヘン工科大学
- ●アーヘン工科大学
- ●エアランゲン・ニュルンベルク・フリードリヒ・アレクサンダー大学
- ●アウグスブルグ大学
- ●ビーレフェルト大学
- ●ハイデルベルク大学
- ●ルールボーフム大学
- ●ヨハン・ヴォルフガング・ゲーテ大学フランクフルト・アム・マイン
- ●★ゲッティンゲン大学
- ★ハインリヒ・ハイネ（デュッセルドルフ）大学
- ★ハイデルベルク大学
- ★（注）

【ハンガリー】
- ●エトヴェシュ・ロラーンド大学
- ★カーロリ・ガーシュパール　カルビン派大学

【スウェーデン】
- ●スウェーデン王立工科大学
- ●イェーテボリ大学
- ★（注）

【フィンランド】
- ●オーボアカデミー大学

【デンマーク】
- ●コペンハーゲン大学
- ★南デンマーク大学

【オランダ】
- ●デルフト工科大学
- ●グローニンゲン大学
- ★（注）

【スイス】
- ●スイス連邦工科大学ローザンヌ校
- ★チューリヒ大学

【ベルギー】
- ●ルーヴァン・カトリック大学[UCL]
- ★ルーヴァン・カトリック大学[KU Leuven]

【オーストリア】
- ●ウィーン大学

【連合王国】
- ●リーズ大学
- ●シェフィールド大学
- ●ノッティンガム大学

【フランス】
- ●グルノーブル大学連合
- ●ストラスブール大学
- ●ピエール・マリ・キュリー大学
- ●パリ国立高等化学学院
- ●ボルドー大学
- ★リール政治学院
- ★エクスマルセイユ大学
- ★トゥールーズ・ル・ミライユ大学

【ポルトガル】
- ★リスボン新大学

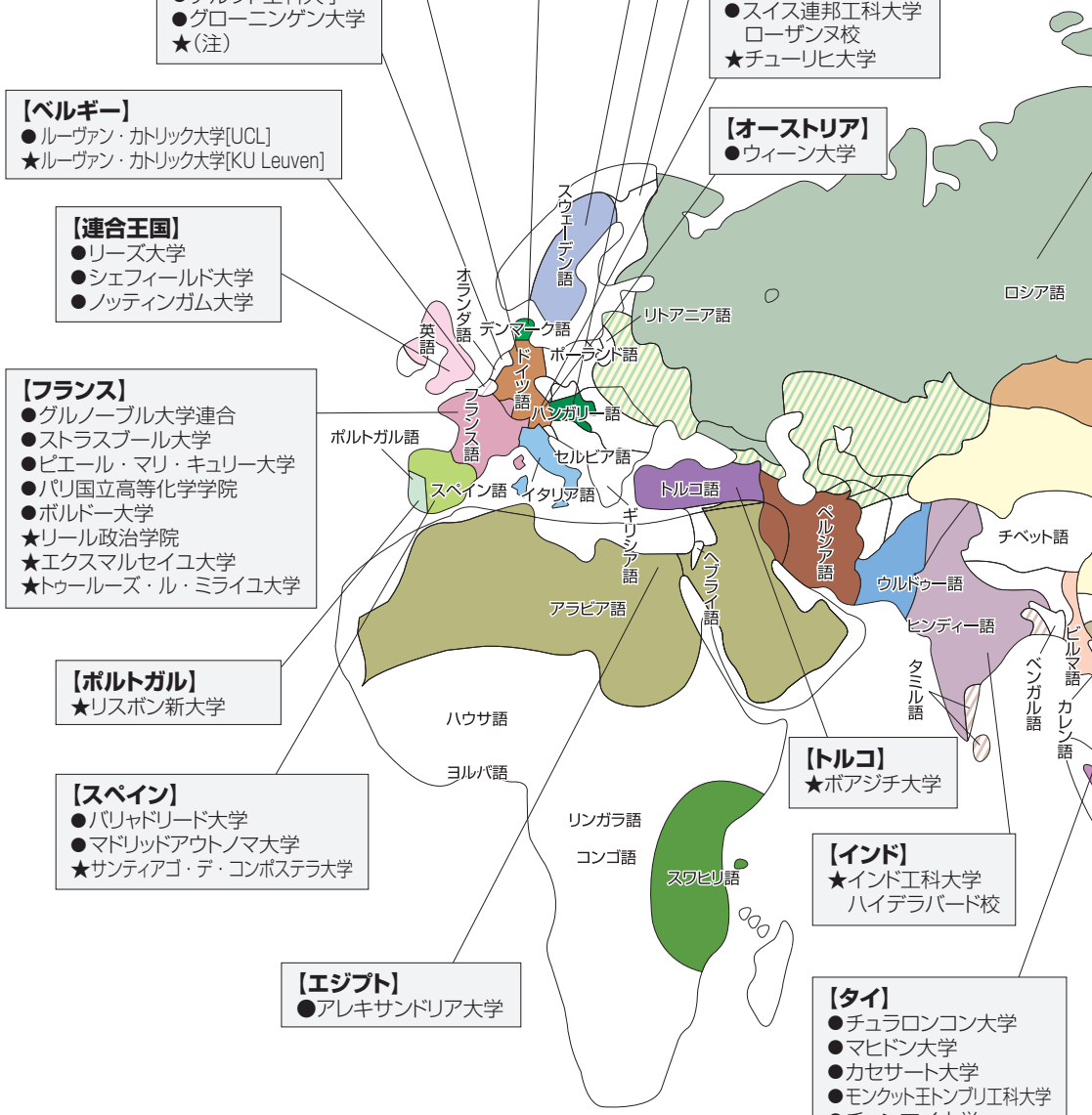
【スペイン】
- ●バリャドリード大学
- ●マドリッドアウトノマ大学
- ★サンティアゴ・デ・コンポステラ大学

【エジプト】
- ●アレキサンドリア大学

【トルコ】
- ★ボアジチ大学

【インド】
- ★インド工科大学ハイデラバード校

【タイ】
- ●チュラロンコン大学
- ●マヒドン大学
- ●カセサート大学
- ●モンクット王トンブリ工科大学
- ●チェンマイ大学
- ●タマサート大学
- ★コーンケーン大学
- ★シラパコーン大学
- ★ランシット大学



上記言語のほか、研究外国語として以下の言語を学ぶことができます。

広東語、アイヌ語、ウィグル語、古典チベット語、カレン語、現代チベット語、オセアニア諸語、モン＝クメール諸語、シャン語、サンスクリット語、パーリ語、ベンガル語、アラム語、シリア語、カザフ語、ポーランド語、古代教会スラブ語、ウクライナ語、チェコ語、リトアニア語、オランダ語、ガリシア語、バスク語、カタルニア語、ラテン語、エスペラント語、満洲語、ヘブライ語、ハウサ語、ヨルバ語、リンガラ語、コンゴ語

海外留学について

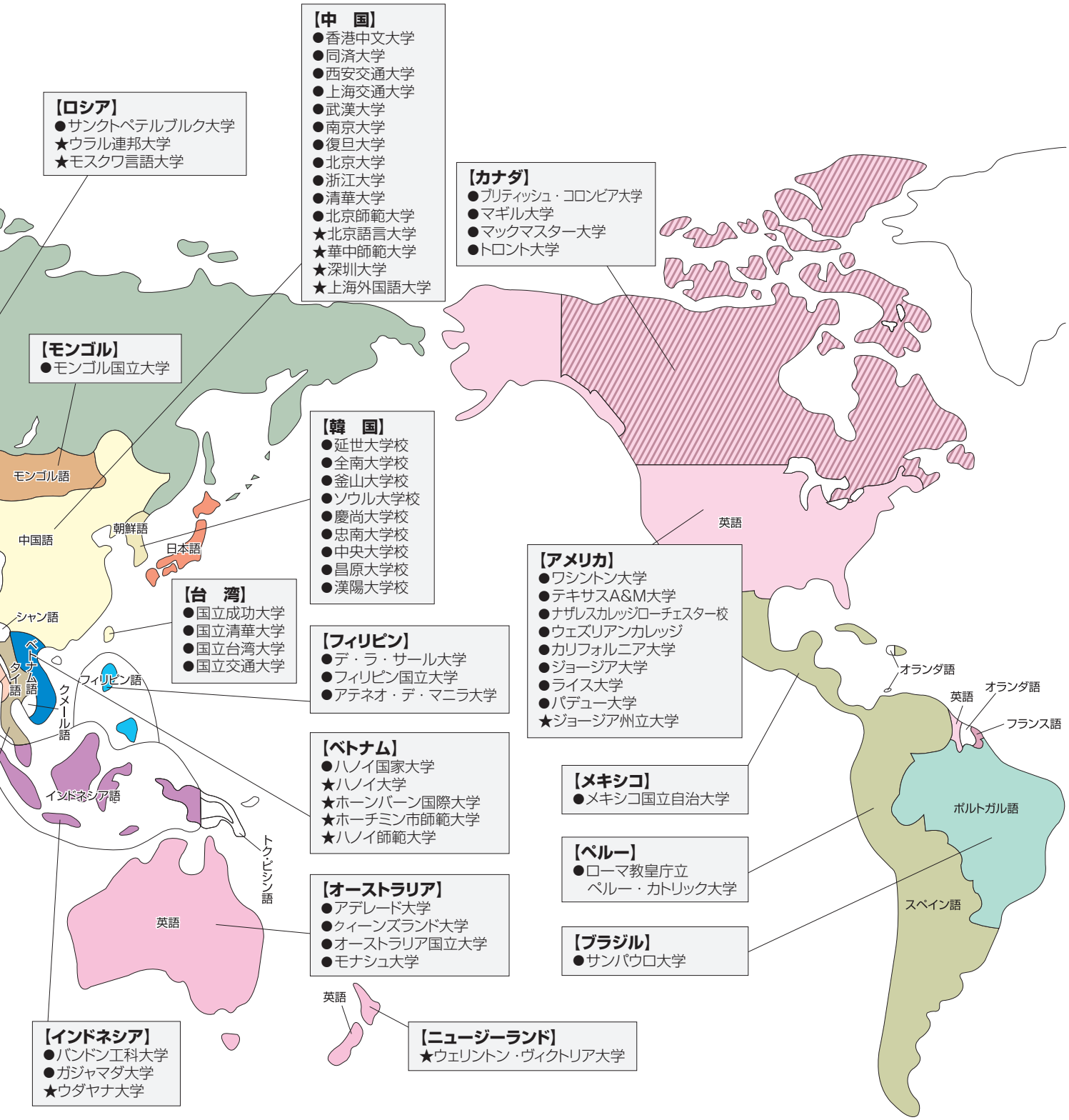
短期交換留学以外には次の方法などがあります。

●外国政府等の奨学金による留学／その他財団等の奨学金留学

毎年、約30カ国の政府または政府機関、及び民間団体が奨学金留学生を募集しています。大学に募集通知のあるものについては、その都度掲示します。それ以外の募集については、専攻の教員等に相談してみるとよいでしょう。

●私費による留学

自己負担で希望の大学に留学します。留学先の大学情報等については、自ら十分調査しておくことが必要です。また、専攻の教員、先輩にも相談してみるとよいでしょう。



卒業生からのメッセージ

日立製作所　宇佐美 貴子（2014年3月卒業 英語専攻）

私は中学生の頃からずっと「将来は英語を使う仕事がしたい」という漠然とした夢を抱いていました。その夢を叶える為、英語のプロフェッショナルを目指して英語専攻に入りました。

授業では英語を多角的に学びつつ、3年時にはアメリカのカリフォルニア大学へ交換留学をしました。英語力の上達以上に、異文化交流において大切なことを学びました。それは"違い"を尊重し、相手と心を通わせ理解しようとする気持ちが大切だということです。一歩日本の外へ出てみれば、自分の価値観は通用しません。世界には自分と異なった考えや風習を持った人々がたくさんいるのです。そのような人々と関わることの楽しさを実感したため、仕事でもグローバルな環境に身を置きたいと考えるようになりました。外国語学部に入学したこと、そして交換留学の経験は、卒業後の進路を選ぶ大きなきっかけとなりました。

実際会社では外国人の同期や優秀な仲間に囲まれ、刺激とやりがいのある毎日を送っています。グローバルに活躍できる環境で、中学生の頃のあの漠然とした夢を、具体的な形で実現させたいと思っています。

「語学ができる=仕事ができる」という単純な構図は成り立ちません。しかし、語学ができるということは大きな武器であり、皆さんの可能性を無限大に広げてくれます。昨今のグローバル化は加速する一方なので、語学ができる人材は今後ますます求められていくと思います。外国語学部では皆さんが世界へ羽ばたくための機会と環境を提供してくれています。語学力を磨きつつ様々な人と出会い、そして日本の外へ積極的に出てみてください。そのような経験が、皆さんの夢を叶える後押しをしてくれるはずです。

アクセンチュア　久野 健太（2014年3月卒業 トルコ語専攻）

外国語学部では全世界からの留学生と出会うことはもちろん、個性的な仲間たちとも出会うことができます。

この学部案内を通じて私が外国語学部を選んだ理由について3点お伝えしたいと思います。

1つ目は「外国語学部を備えた唯一の総合大学であること」です。私自身、外国語学習には常々興味を抱いていました。しかし、私は専攻語だけでは物足りなく、専門のトルコ語以外に英語やドイツ語などの他外国語はもちろん、法学や地理学も受講していました。このように幅広い知識を得ることができるのは阪大外国語学部だけではないかと思います。

2つ目は「トルコ語が学べる大学であること」です。皆さんはトルコと聞いて何を思い浮かべるでしょうか。トルコ人は親日家?トルコ料理は世界三大料理のひとつ?夏祭りのケバブ?すべて正解です。私自身、トルコという国、そして文化が好きで、言語を習得することで少しでも深層に触れたい、という気持ちからトルコ語を選びました。皆さんも好きな国があれば、その国の言語を学んでみてはどうでしょうか。

3つ目は「学生の数」です。大阪大学は国公立大学の中で最多の学生数を有しています。これほど大人数の学生がいると、様々な人がいます。個性豊かな仲間とともに学生生活を送り、刺激を受け、そして刺激を与える･･･。たった4年間の大学生活ですが、大学で得た刺激、そして仲間は一生の糧となり、一生の宝物となります。

以上3点が、私が外国語学部を選んだ理由です。皆さんも刺激に溢れた大学生活に飛び込んできませんか?最後にトルコの諺を皆さんに送って締めたいと思います。

"Dağ dağa kavuşmaz, insan insana kavuşur."
「山同士は出会わないが、人同士は出会うのである。」

富士通　安久 はる香（2014年3月卒業 フィリピン語専攻）

Magandang hapon po. はじめまして。2013年度卒業生の安久はる香と申します。今回は外国語学部に興味を持っていただいた皆様に、私が外国語学部を選んだ理由と、外国語学部のメリットについて、お伝えしたいと思います。

外国語学部に入りたい―それが、高校1年生の時からの目標でした。その理由は、中学2年生で行ったニュージーランドへのホームステイで、「世界の広さ」と「世界の人々と関わる楽しさ」を知り、海外へ興味を抱いていたからです。5年間を振り返り、この選択は間違っていなかったと思います。外国語学部を選択して良かったという大きな2つの理由は、「グローバルという広い視野を持ち、積極的な人々と出会うことができたこと」と「異文化体験をする機会が豊富にあること」です。第一に、外国語学部で出会った友達の影響により、海外と関わることが当たり前、という感覚を持つようになりました。そのため、1年間カナダへ留学し、ヨーロッパをバックパック1つで旅をすることができたのだと思います。日本で1人暮らしもしたこともないような私が、1人でかつ言葉や文化の異なる海外を旅し、暮らすということは、大学入学前には想像がつきませんでした。第二に、外国語学部のキャンパスでは、留学生やネイティブの先生方などと関わる機会が多く、日本にいながら異文化体験ができるという点です。海外が遠いものではなく、近いものであることを、身をもって経験することができます。

外国語学部を卒業後、「世界の人々の生活をよりよくする」という夢に向かって、現在IT会社で日々勉強をしています。将来的には、海外で働くことが目標です。

皆様も、このようなグローバルのフィールドで成長してみませんか?少しでも外国語学部に興味を持っていただければ光栄です。皆様の今後のご活躍を心から応援しています。

ダイキン工業　中川 春香（2014年3月卒業 中国語専攻）

みなさん、はじめまして。2013年度卒業生の中川春香と申します。この冊子を通して、みなさんの今後に少しでもインスピレーションを与えられれば幸いに思います。

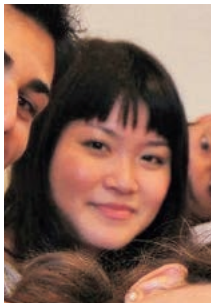
外国語を学ぶ意義、ひいては、外国語学部の存在意義とはなんでしょうか。外国語を学ぶ楽しさ・面白さ、外国語学部を志すみなさんなら、それぞれ個々の考えをお持ちだと思います。私にとってのそれは「音」です。日本語とはまた違う「音」の美しさ・しなやかさ、それを汲み取り、自分のものにしていく過程に、私は快感を覚えます。中国語は第一志望ではありませんでしたが、映画『赤壁』を観てから、その発音の美しさの虜になりました。短期の旅行は数え切れず、一年留学にも行きました。私は発展著しい中国の真の姿を観るために、あえて発展途上の内陸への留学を決めました。発展未熟な地域ですので、生活面での苦労は多かったですが、おかげで現地との触れ合いも都市部に比べて多く、深く、中国語を勉強するものとして、非常に良い経験となりました。

今、日中関係は特に冷え切っています。領土問題や歴史問題をはじめ、メディアがお互いのことを悪く報道し合うために、悪い印象を持たざるを得ません。外国語はそういったフィルターを通さず、実際に相手と対話し、相手が真になにを考えているか理解することを可能にします。

こうして外国語を学び、様々な国の方と話すことによって、日本への見方も変わってくるでしょう。考えが変われば、行動が変わり、行動が変われば、人生が変わります。外国語学部は私にとって人生の大きな分岐点となりました。

大学は自分が主体的になればなるだけ、多く得られる場所です。この貴重な大学生活、自分の軸を見つけるべく、なにごとにも果敢に取り組んでいってください。みなさんのご活躍を心から応援しています。

外務省　黒田 朝子（2014年3月卒業 イタリア語専攻）



外国語学部に興味をお持ちの皆さんへ、①外国語学部の魅力、②大学生活と就職、③皆さんへ一言、についてお話しさせてください。

①外国語学部の学生は自分を貫く自由人、個性輝く人が多いです。そのような刺激的な学生が外国語学部の大きな魅力だと思っています。私も先輩との出会いがなければ今の仕事の存在を知ることはありませんでした。

②私は6年在学したため、随分遠回りしたと思われるでしょう。実際、外国語学部で休学は珍しくありません。私が留学したローマに戻るために就活を始めたように、多くの学生にとって休学中の経験は、将来のことを考える原動力になっていると思います。就職に関してもう一つ言えば、実は「女は外国語学部でもいいが、男は○○学部でないと…」と言われたことがあります。就職に不利だと思ったのでしょうか。私が知る限り、進路の選択肢は男女共に驚くほど幅広いです。（特にイタリア語のような）クラスによっては少数派となる男子は女子の中で生き抜く術を身につけ、就活でもその人間力を発揮し大成功しています。

③今だに「なぜイタリア語なのか?」とよく聞かれます。正直に言えば祖父母の影響です。初めから大きな問題意識や目的があったわけではありません。大きな野望を持って入学しようとしている方、素晴らしいと思います。しかし、そうでない方にもぜひ外国語学部をお勧めしたいのです。外国という未知の世界に飛び込もうとすることで、新しい道が拓けるかもしれません。また、自分の世界を持った個性的な友人がいるだけで、大学生活は絶対に楽しくなります。

大阪大学大学院　小野田 風子（2014年3月卒業 スワヒリ語専攻）

「良い授業とは、教室に入っていき、一時間後教室を出るときには別の人間になっている、そんな授業である」とどこかで読んだことがあります。実は私はこの学部で、そのような授業に何度も出会いました。

スワヒリ語専攻ではよく、「われわれは大陸を一つ抱えている」と自負しています。スワヒリ語とは東アフリカの共通語ですが、入学してくる学生の興味はしばしば東アフリカだけにとどまらず、アフリカ大陸全土に及びます。そのような広い興味に対応し得る幅広い知識を提供する用意が、スワヒリ語専攻にはあるという気概だろうと思います。事実、スワヒリ語専攻では、スワヒリ語だけにとどまらず、文化人類学、生態人類学、政治経済学、言語学、文学など幅広くアフリカ学の基礎を学ぶことができるのです。

アフリカという大陸は現在、援助や紛争解決、ビジネスなど様々な関心の対象となっています。しかしどのような形であれアフリカと関わりたいという人は、まずはアフリカから学ぶという姿勢で臨むことが大切です。そのスタート地点となるのが、現地の人々が日常的に話している言語を学ぶという行為でしょう。

アフリカに限らず、すべて異文化を学ぶという行為の醍醐味は、他者に出会うことで、世界における自らの立ち位置を悟ることです。自らの無知を知り、自らの思考に潜む偏見に気づき、そして自らの無力さを思い知らされることです。ではこの世界の中で、私たちはいったいどのように生きていけばいいのか。この問いこそが、真の学問の出発点です。この迷いの中から、自分の人生を徐々に見極めていく…外国語学部には、そんな充実した4年間が待っているはずです。

箕面キャンパス

施設・設備案内

❷ B棟（写真・中央）

１階にある学生談話室は、自習や食事をしたり、各々の時間を気ままに過ごすことができる自由な空間です。２階には、外国語学部箕面事務室（庶務係・研究協力係・経理係・契約係）があります。

❶ A棟（左写真の右および右写真）

学生生活をサポートする機能の中枢。

１階には言語文化研究科・外国語学部箕面事務室（学務係・教務係・学生支援係）、箕面学生センター、なんでも相談室があります。在学生に対して多様な情報を提供しています。

学務係・教務係・学生支援係 窓口（A棟）

❸ E棟

開放的な空間デザインになっています。

❹ 大阪外国語大学記念会館

❺ 附属図書館　外国学図書館

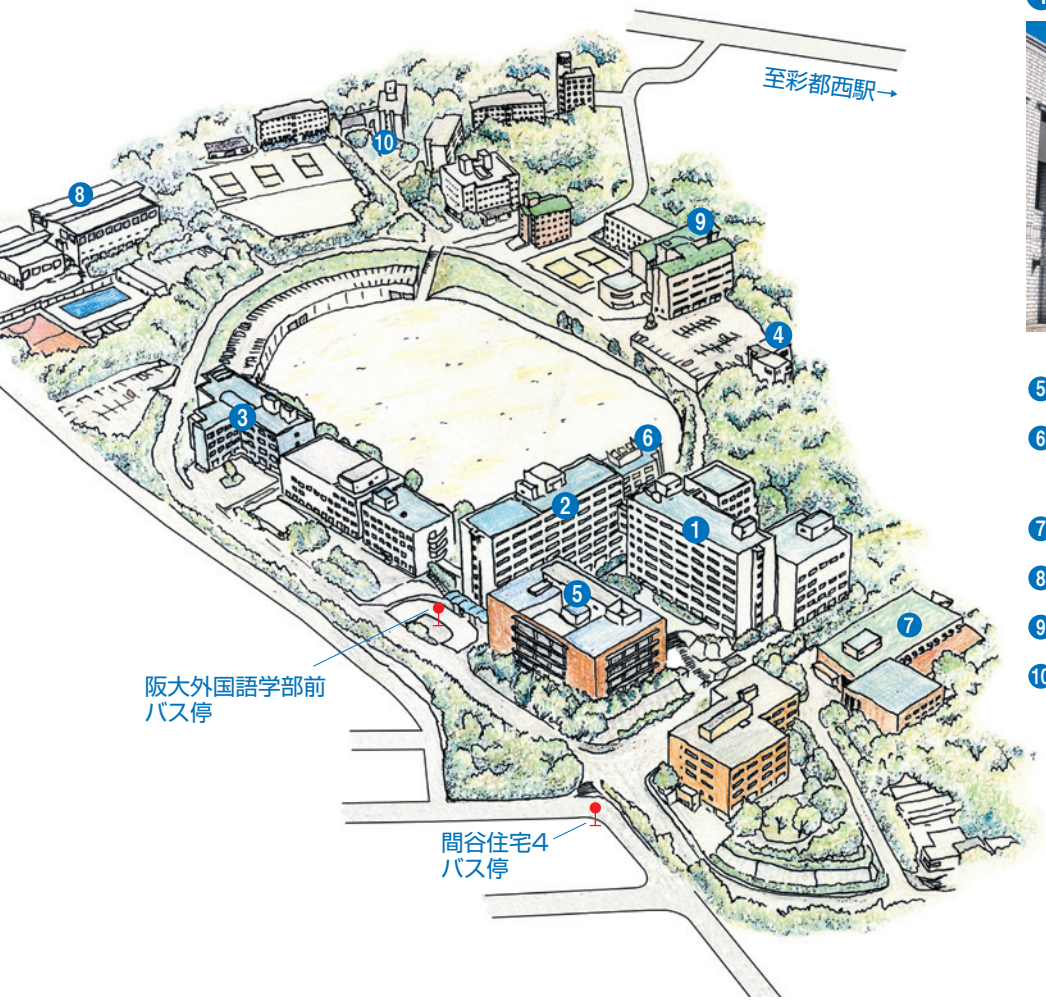
❻ サイバーメディアセンター
総合研究棟

❼ 箕面福利会館

❽ 箕面第１・第２体育館

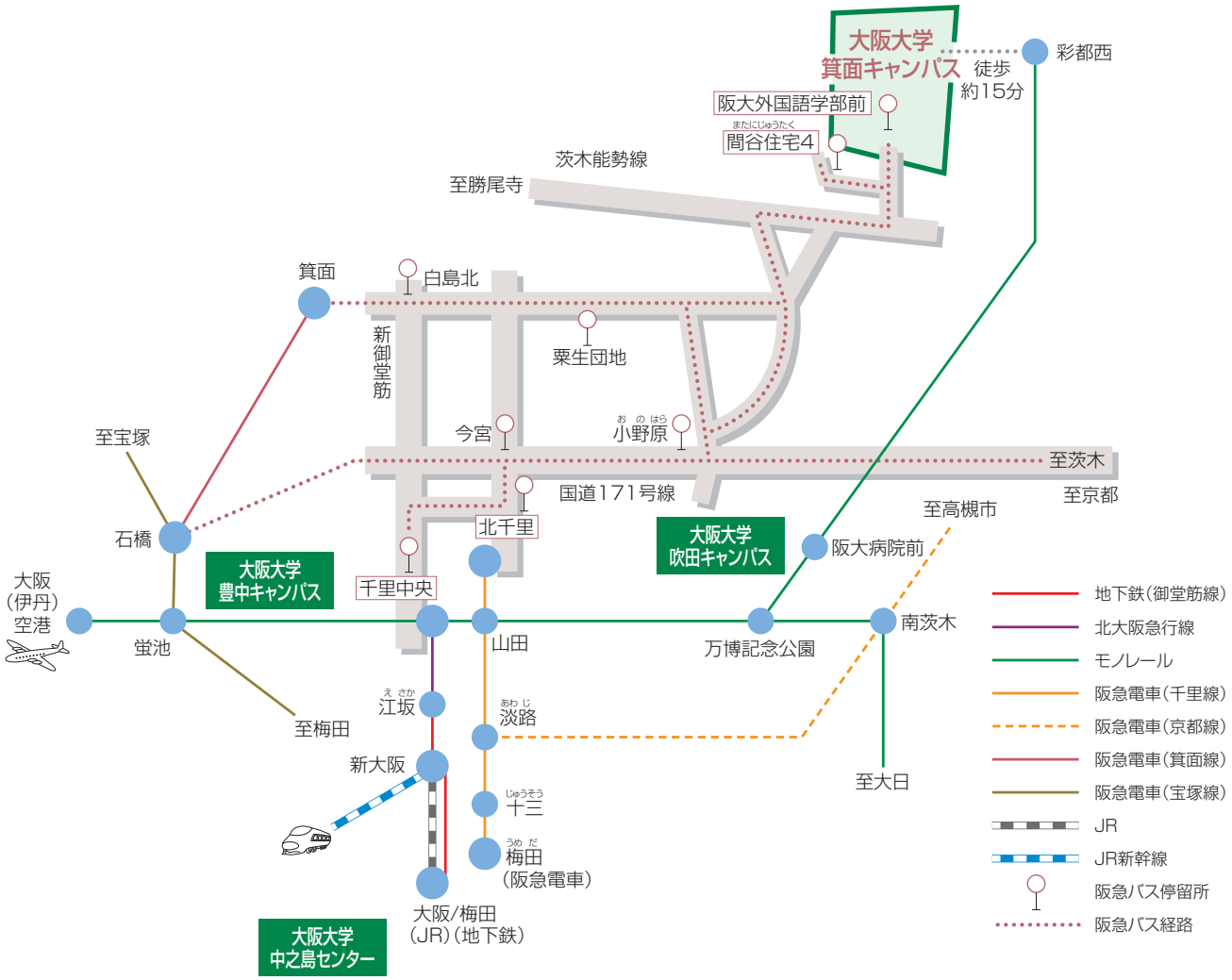
❾ 日本語日本文化教育センター棟

❿ 学寮　等



箕面キャンパス

所在地経路図



最寄り駅から箕面キャンパスまでの経路

○北大阪急行線「千里中央駅」
○大阪モノレール「千里中央駅」
千里中央
(「千里中央」発のバスは「北千里」を経由します。)

10分

○阪急電鉄(千里線)「北千里駅」
北千里

10分

小野原

15分 **阪大外国語学部前**

15分 **間谷住宅4**

○JR(東海道線)「茨木駅」
JR茨木
「阪急石橋」行乗車　25分
(「小野原」でバス乗換え)

○阪急電鉄(宝塚線)「石橋駅」
阪急石橋
「JR茨木」行乗車　25分
(「小野原」でバス乗換え)

○阪急電鉄(箕面線)「箕面駅」
箕　面
25分(運行便数は非常に少ないので注意:1時間1便程度)
間谷住宅4

●大阪モノレール利用の場合

大阪大学 箕面キャンパス ……徒歩 約15分…… **彩都西**
6分
阪大病院前
5分
大阪空港 3分 **蛍　池** 10分 **千里中央** 2分 **山　田** 3分 **万博記念公園** 6分 **南茨木**
(阪急宝塚線 連絡)　(北大阪急行線 連絡)　(阪急千里線 連絡)　(阪急京都線 連絡)

(※注意)
大阪大学の休業日(土・日・祝・春期／夏期／冬期休業期間)は、「阪大外国語学部前」行きのバス(――線)は運休しますので、「間谷住宅(またにじゅうたく)」行きのバス(－－－線)をご利用ください。

●学生専用便を運行
外国語学部の授業期間中は、1限から5限の授業時間に合わせて、JR茨木駅、阪急箕面駅から学生専用便を運行しています。
乗車時間は、およそ20分～30分です。

凡　例
：阪急バス停留所名
：阪急バス「阪大外国語学部前」行き※
：阪急バス「間谷住宅(またにじゅうたく)」行き※
：大阪モノレール
：大阪モノレール駅

大阪大学　外国語学部

大阪大学　外国语学院

오사카대학 외국어학부

ОСАКАГИЙН ИХ СУРГУУЛИЙН ГАДААД ХЭЛНИЙ САЛБАР

FAKULTAS KAJIAN ASING UNIVERSITAS OSAKA

คณะภาษาต่างประเทศ มหาวิทยาลัยโอซากา

KHOA NGOẠI NGỮ, TRƯỜNG ĐẠI HỌC QUỐC GIA OSAKA

အိုစကာတက္ကသိုလ်နိုင်ငံခြားဘာသာဌာန

ओसाका विश्वविद्यालय विदेशी भाषा संकाय

شعبۂ زبانہائے خارجہ، جامعہ اوساکا

كلية الدراسات الاجنبية جامعة اوساكا

دانشکده مطالعات خارجی دانشگاه اوساکا

OSAKA ÜNİVERSİTESİ YABANCI DİLLER FAKÜLTESİ

CHUO KIKUU CHA OSAKA KITIVO CHA MASOMO YA KIGENI

ФАКУЛЬТЕТ ИНОСТРАННЫХ ЯЗЫКОВ УНИВЕРСИТЕТА ОСАКА

OSZAKAI EGYETEM IDEGENNYELVI KARA

SCHOOL OF FOREIGN STUDIES, OSAKA UNIVERSITET

SCHOOL OF FOREIGN STUDIES, OSAKA UNIVERSITET

FAKULTÄT FÜR FREMDSPRACHEN AN DER UNIVERSITÄT OSAKA

SCHOOL OF FOREIGN STUDIES, OSAKA UNIVERSITY

FACULTÉ DES LANGUES ÉTRANGÈRES DE L'UNIVERSITÉ D' OSAKA

FACOLTÀ DI LINGUE STRANIERE DELL'UNIVERSITÀ DI OSAKA

FACULTAD DE ESTUDIOS EXTRANJEROS, UNIVERSIDAD DE OSAKA

FACULDADE DE ESTUDOS ESTRANGEIROS, UNIVERSIDADE DE OSAKA

大阪大学 外国語学部　〒562-8558 箕面市粟生間谷東8丁目1番1号　電話 (072)730-5069

平成26年7月作成

http://www.sfs.osaka-u.ac.jp/